京城日報 朝刊

中國に回生の力 和平の大道開く
東亞の面目完全に回復
日華新條約を慶祝 汪主席獅子吼

【南京卅日同盟】卅日、日華同盟條約調印の大任を果した國民政府主席汪精衛氏は、直ちに國民大會堂に於いて開催された首都民衆慶祝大會に臨み世紀の演説を試みたが、右演説に於いて主席は新條約の意義を強調し東亞同胞本來の面目は完全に恢復されたと絶叫、更に重慶に對しては、今こそ反省しなければ英米のための交戰になり終るであらうと力説、滿場の民衆に多大の感銘を與へた、汪主席演説要旨左の通り

汪主席

日華同盟條約は本日調印を了したが、右は日華關係はもとより、東亞に於いても一新紀元を劃したもので、日華兩國は今後完全に平等互惠の立場に起ち永久友好關係を樹立し共同して大東亞の建設に努力することが出來るのである。中國と日本との間に於ける國家的及び民族的關係の發生はすでに二千餘年間に亘る、この間、時には衝突があつたが、これを通算するもなほ數年乃至十數年、すなはちその百分の一に足らず、その他の百分の九十九の期間はすべて友好關係にあつた、しかしながら、今回の如く完全に双方の道義精神に基き兩國の友好關係を規定した條約は實に最初のことに屬し、百年來中國を束縛し來つた不平等條約の桎梏はこれによつて一掃せられ東亞同胞本來の面目は完全に回復された、今後日華の友好關係は益々密固を加へ、大東亞共榮圏の建設は愈々邁進されるであらう、今次の同盟條約を民國二十九年締結の基本關係條約と比較し、その同じからざる重要な二點を擧げれば、その第一點は基本關係條約第三條第三項の防共駐兵と第四條の治安駐兵と第五條の從來の慣例に基く艦船部隊の駐留とが全然取消されたことである、なほ今回の附屬議定書第一條第二項には『日本國は北清事變に關する北京議定書及びその關係文書に基く駐兵權を抛棄する』旨規定してあるが、右は本駐兵權が特別の規定に基くがために特にこれを掲げたるものである、更に基本關係條約締結の際には附屬議定書第三條に『日本國軍隊は本日署名せられたる日本國中華民國間基本關係に關する條約及び兩國間の現行約定に基き駐兵するものを除き撤去を開始し、治安確立と共に二年内にこれを完了すべく、中華民國政府は本期間に於いて治安の確立を期するものとす』と規定しあるが、今回の附屬議定書第一條には『日本國は兩國間の全般的平和克服し戰爭狀態終了したるときは中華民國領域内に派遣せられたる日本國軍隊を撤去すべき』旨規定し、これら特殊條件を完全に撤廢した、第二點は日本關係條約第六條第二項に『華北及び蒙疆』の二字句があり、第四項に『揚子江下流地域』の字句があつて、これは中國領域内に特殊地帶が存するが如き觀を與へかつ右は經濟方面のみに止まらず政治、軍事各方面に於いても又これに關聯し統一を分離するの危險を生ずる倶あることを感ぜしめた、而るに今回の同盟條約第三條はこれら特殊地帶に關する條項を完全に撤廢した、上述の第一點は中國の自由に關係あり、第二點は中國の統一に關係あり何れも極めて重要であるが、このほかなほ極めて重要なのは同盟條約の第五條に於いて中華民國廿九年十一月卅日調印の日本國、中華民國間基本關係に關する條約はその一切の附屬文書とともに效力を失ふ旨規定したことである、從來基本關係條約に對してはいはゆる密約があり、例へ密約なしとするもこの附屬文書の中には必ず發表せざるものが存在すべしと疑ふものが少くなかつたが、これを見ればあらゆる疑惑は雲散霧消すべく、しかも今回締結せる同盟條約には附屬議定書および交換公文各一部のほか何らの附屬文書がなく、一層公明正大であることが判る、更に今次の交換公文に於ける既成事實に關する說明は基本關係條約締結書の各條項に比べその意義一層明瞭かつ周到である

附屬議定書第一條にはいはゆる特殊事態の存在があり、三年來日本政府は國民政府と誠意をもつて協議の上出來る限りの調整を加へ新政策實施後は中國の自主獨立完整を達成するため一層果敢にこれを進め、幾多の調整を遂げたことは世間周知の事實で、今回の交換公文ではさらに一層その決心を表示された、もとより全部の調整は全面和平回復し戰爭狀態が終了した時はじめて實行されるのであるが、戰爭狀態繼續中といへどもその狀況の許すところに應じ隨時兩國間に於いて協議の上調整を加へることゝなつてゐる、右は全く今回の同盟條約の趣旨に基き、國民政府をしてますます强化せしめ中國の獨立自由をしてますます完全ならしめんとするもので、かかる好意は洵に吾人をして感激せしむるものである

條約の規定は多く彈力性を有しその適用は吾人が努力すればこれをよき方面に向はしめ、しからざれば惡き方面に傾かざるを得ない、例へば駐兵時間の長短、駐兵地點の多少、兵數の多少などすべてなほ未だ協議決定してゐないが、もし吾人が努力してよく全面和平を實現せしめ、治安を確立し國防の完璧を期せば、駐兵期間は必ず短縮され、駐兵地點及び兵數は必ず減少、これに反すれば期間は延長せられ、地點は增加するのであらう、このことは經濟現象にもあてはまり、もし吾人が努力して正確なる經濟方針を樹て經濟方面の人材を集め經濟上の技術を施せば、經濟提携は必ず合理化され兩國の目的を達成することが出來る、しからざればたゞ失敗の道を辿るのみである

吾人は條約が締結された以上これを遵守するの義務がある、しかも今回の根本的條約改訂の決意は日本政府より提出されたものであるに拘らず、これを放棄し同時に中國側の懸念した各項目は徹底的に一掃された、余は今日公然と全國の同胞に告げよう、今回の條約改訂は全く日本政府及び國民政府の好意に出たもので、日華兩國の永久友好關係といふべく、大東亞の共榮をはかるため道義的精神と同胞的感情に基きかくの如く公明正大なる主張を提出し、中國に對し起死回生の力を與へ、日華兩國のために永久友好をもつて、東亞のために正しき和平の大道を開いたものである

日本は何故今回の如き決心と實行に出たかを思ふと、善隣友好の觀念は既に近衞聲明に現はれたが當時は大東亞戰爭は未だ勃發せず英米の侵略勢力はなほ中國内に存在し、政治、軍事、經濟、文化各方面を操縱する力があつた、例へば駐兵の如きは假令日本が從來の慣例を廢棄せんとして單獨に行動するも、中國の束縛と桎梏とを除くに由なきのみならず、却つて英米の横暴の增強する危險があつた、經濟問題についても同樣である、しかるに大東亞戰爭勃發し、英米の中國における勢力は餘す所なく驅逐されるに及んだ、全國の同胞よ、今吾人は如何にすべきであるか、戰爭勃發當初、大多數の同胞は抗戰するも亡び、抗戰せざるもまた亡ぶと認め、悲觀的氣持を抱いて抗戰に從事し、和平運動開始の當初から少からざる同胞が日華の提携は望みなしと認め和平を拒絶した、この數年來和平の望みはあつたが、一方これに反する事實もまた少くなくその決心と行動を鈍らせた、しかるに今や如何、國府の提唱せる大アジヤ主義はすでに理論より實行に進み、國府の希望せる日本が中國の不平等條約排除を援助することもすでに事實となつて現はれ『同志よ努力を繼續して不平等條約を排除すべし』との期待はすでに貫徹された、吾人は今や日華同盟條約に基き國民の總力を結集して大東亞戰爭を完遂し、大東亞共榮圏の建設を完成するまで努力をつゞけ、中華の獨立と自由とに對する強固な保障を得なければならぬ

希むは重慶の反省
止めよ米英の爲の抗戰

顧みるに日支事變勃發以來、重慶側に於いてはかつて公然『盧溝橋事件以前の狀態を回復すれば初めて和平を實現するを得べし』と主張したが、今日の狀態は啻にこれに達し得るのみならず更に幾倍かを超過した、すなはち盧溝橋事件以前の中國には租界があり、治外法權があつたが、これ等は今や既に消滅し、盧溝橋事件以前には中國の領域内に到るところ次植民地の狀態を呈してゐたが、今や英米の侵略勢力は既に驅逐され、百年來中國を束縛し來つた不平等條約は廢棄された、かつて日華兩國の方針は相容れなかつたが、今やそれも全く一致し、永久友好の關係が確立された、現在必要とするところは唯重慶が反省することのみである、これを大局より見るに、勿論中國人にとつて最も有利である、何んとなればかくして日本は撤兵を履行し中國領域内の戰爭狀態は立ちどころに解消するからである

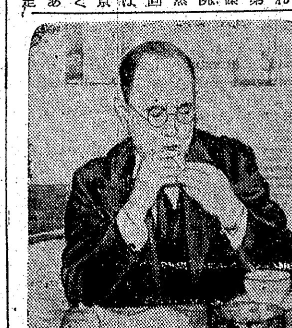
中國は大東亞戰爭中、後方の地位にある、これもとより中國が精鋭なる軍隊を前線に送つて幾分でも友邦將兵の勞苦を分たんとすることを忘れたのではない、然れども治安を確立し生産を增加することは後方に於ける當面の急務である、中國がさうすれば大東亞戰爭の後方の義務を果し得ると同時に、戰後各種の事業の復興と改善とを刺戟することが出來よう、これ中國の國力、戰力の回復增強に極めて有利なる點である、重慶側に於いて若しこの際反省をしなければ重慶の所謂抗戰なるものは中國のための抗戰でなく英米のための抗戰に過ぎず、自國の同胞を蹂躙し安居樂業の地を好んで英米の屠殺場化するのみならず同時に同胞をビルマ方面に送還し、英米の走狗となつて獨立の萌芽を現した國家に反向ふが如きは東亞の叛逆兒たるに止まらず、中國の罪人である

願はくは重慶側の將兵及び民衆は明確に事態を認識し速かに自己の行くべき途を決定すべきである、これは今からでも遲くはない、一日遲れゝば一日を誤るだらう

思ふに余が少數の同志を率ゐ徒手空拳重慶を出で和平運動に邁進してより今日まで正に五年に垂んとするが、日本のかくの如き援助により中國をしてその獨立自主の志を達成せしめることが出來た、余は謹んで衷心より日本政府及び國民に對し感謝の意を表明するとゝもに、重慶側に於ける舊知の同僚が今なほかへらざるを想ひ、無量の感を禁じ得ないのである、國父在天の靈はわれ／＼の上に加護を垂れ全國統一を速成せしめんことを深く／＼祈つて止まないとともに、吾人は誓つて勇往邁進、克苦耐錬の精神をもつて愈々中華復興、東亞保衞の使命を完成せんことを期するものである

[illegible]した卅四名の技術者の表彰を決[illegible]官邸で晴の表彰[illegible]大臣から表彰[illegible]回表彰された例[illegible]增強の途礎をな[illegible]す資源な勞作で、その六割分はすでに工業化され、軍需資材の增産に多大の寄與をなしてゐる

郷土防衛に總蹶起
互惠平等の緊密提携
重光外相談


記者團と會見の重光外相(外相官邸にて)

【東京電話】重光外相は去る廿七日の翼賛政治會總務會席上中島彌團次氏の質問に答へて大東亞建設の根本方針とわが戰爭目的に關する重大なる發言をなし、各方面に多大の反響を呼んだが、卅日日華同盟條約成立するや中華大使時代の外相として今日に至るまで對支政策の重要なる推進力的存在であつた關係からも喜色外に溢れて午後外相官邸に記者團を招致、内容左の如く信念を披瀝した

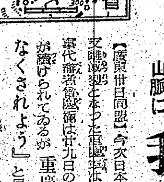
日華同盟條約は日華兩國の本然の姿がここに遺憾なく顯現されたものであると思ふ、支那の言葉に『義は天の道なり』といふのがあるが本然の姿に還ることこそ天の道だと信ずる、この天の道の實踐こそ支那問題解決の鍵であり、アジヤ解放であり、東亞の復興であり、此正義に對しては世界の何人たりとも必ずや共鳴する筈である、ビルマ、フイリピンとの同盟條約も亦同じ精神にもとづくものであつた、第八十三議會でもその信念を披瀝する機會を得たがこれこそ大東亞建設の骨子であり、根柢でなくてはならないと信じてゐる、大東亞各國はその根本精神に則つて各自自主獨立して發展してゆくわけだが、現在は戰時中なので協力といふ面が主となつてゐるわけだ、しかしその根本は飽までも互助敦睦でなくてはならぬ、また大東亞の結集といふことは決して排他的のものではなく寧ろ進んで右の如き本然の姿に還るの大精神を世界に宣揚し浸透させてゆかねばならぬと考へてゐる、日華の同盟條約が出來て大東亞の政治的骨組は大體これで一應は完成したわけだ、殘された問題は如何にしてこれを徹底させ運用して行くかといふことでこれが實に大きな仕事であると思ふ

自分は昨日もドイツのスターマー大使に來て戴いてこのことをお話しわが國の意のあるところを充分理解して戴いたし、その他盟邦各國はもとより現在東京にゐる各國使臣諸氏とも機會ある毎に信念を披瀝してゐるが、わが國の大東亞建設方針は大體においてよく理解されつゝあるかの如くに感ぜられる、敵米英も表面では兎や角いつてゐるが内心では必ず理解せざるを得なくなるだらうと確信する、米國なども米洲諸國を固めようといろ／＼やつてゐるが、米國の米洲政策とわが大東亞政策とは根本的に異り所詮同日に論ずべきことではない、すなはちアメリカは汎アメリカ主義で排他的だが、日本は決してブロックを結成しようとしてゐるのではない、日本は家族主義の精神を全世界に及ぼしたいと考へてゐるのであつて、城壁をこしらへて他人の入るのを排斥するなどの狹い量簡は寸毫もないのだ、もちろん東亞安定を害するが如き闖入者があればこれは斷乎膺懲しなければならない、私はかねてから世界は政治的には廣すぎるが、經濟的には狹過ぎるといふ考へをもつてゐる

即ちアメリカが全世界のことに悉く容喙したり、イギリスが全世界を制覇しようとしたりしてもそれは無理だし、日本がアメリカや南米の隅々のことにまで關興しようとしても駄目である、しかし經濟的には確かに狹過ぎる、狹いから中には經濟封鎖などと稱して理不盡に挑戰して來る不都合な國もあり、今次の戰爭の如きは明かに右の米英の挑戰に原因するところが多いのだが、これでは何時までたつても世界の平和安定は出來ない、そこで有無相通じ各自に經濟的開放を行はうといふ原則が確立されなければならない、しかもこのことは一方的には實行出來ないので互惠主義といふことになるわけだ

日本が大東亞各國との同盟條約に於いて互惠主義をその規定としてゐる、ここにおいて、現在日本及び同盟諸邦は正義の大戰爭を戰つてゐる、これを敵米英が互惠主義に背いて東亞を自己中心の利益主義の好餌とせんとしわれらの郷土であり、搾取の地である東亞をかれらの植民地として顧みとして手をつけて來たからで、われらはかゝる暴行を決して許すことは出來ない、斷乎驅滅してわれらの郷土を守らなければならない、敵は目下植民地獲得戰爭をしてゐるわけだが、かゝる非道が通る筈はない、われらの郷土防衞戰は必らず勝つ、この大東亞の郷土防衞のための總蹶起が今日の戰爭段階であり、日華同盟條約はかうした立場から互惠平等の緊密提携を確約した根本條約なのである

重慶軍、今や袋の鼠
高黎貢山脈に我包圍網刻々壓縮



【廣東卅日同盟】今次日本軍の龍陵附近雲南作戰によつて怒江西岸の渡河點は悉く日本軍に撒壓され重慶軍は目下高黎貢山系中に袋の鼠となつてゐるが、重慶軍事委員會發言人は廿九日の記者會見に於いて『雲南省怒江西岸高黎貢山では依然日支兩軍の戰闘が續けられてゐるが、重慶軍は困難に陷り怒江西岸から全面的撤退を餘儀なくされよう』と早くも重慶軍の撤退を言明した

【リスボン廿九日同盟】重慶來電は重慶軍に對する包圍の鐵壁を逃れんと激戰をつゞけてゐるやうだ、軍事委員會發言人も廿九日外國特派員との會見に於いて戰闘が騰越北西十四里高黎貢山脈隨一の要衝馬面關附近に集中されたと發表すると同時に日本軍が極く狹い路面を除いて怒江渡河點を悉く手中に收めた事實を認めた、重慶軍はこの殲滅な包圍から出路を求めて袋の鼠のやうにもがいてゐるが、前線報道によれば日本軍は怒江東岸の重慶軍を砲擊によつて壓制する一方、海拔約四千呎の馬面關の背後で重慶軍の退路を遮斷せんとしてをり、大包圍網の完成は時間の問題を見られるに至つたさらに軍事委員會發言人の談話によれば、ビルマのミイトキーナから片馬方面に進出した日本軍にはビルマ人部隊が加はつて活躍してゐるといはれる

機先、米五機を擊墜(九江地區)

【漢口卅日同盟】中支軍發表(十月卅日十七時) 本卅日十二時五十七分敵米空軍八機は九江方面に飛來せるも、わが航空部隊は機先を制してこれを邀擊しその五機を擊墜せり、わが方損害なし

民心、國府に吸收
對米英反感、益々增大

【南京卅日同盟】卅日日華同盟條約締結の報は全中國の隅々に電擊の如く傳はり、異常な感動の波紋を捲起してゐるが、今次同盟條約締結に關する中國朝野の反響を綜合すれば次の如くである

一、今次新條約に示された日本の誠意は、和平及び抗戰地區の別なく中國民衆の對日認識を一變せしめ、大東亞建設への理解を生ぜしめるであらう

二、新條約の成立により國民政府の和平救國の指導に對する民衆の一切の疑惑が拂拭された結果民心は國府に吸收され、國府の政治力は飛躍的に强化されるものと豫想されるに至つた、かかる觀點より今後國府の施策は民衆の協力を得て圓滑に遂行されるであらう

三、重慶の抗戰目的が名實ともに全く消滅したことは重慶に對する民心の離反を加速度的に增大せしめ、今後和平回復全面撤兵の成否は一にかゝつて重慶側の責任に歸せられることになる、すなはち一日和平が實現しなければ一日友邦日本の撤兵も遲れるといつた關係から、民心把握に腐心する重慶をかつてない窮地に陷込むであらう

四、日本の眞意を知つて中國民衆が大東亞戰完遂援助の合理的基礎を見出し、今後の國民政府の對日協力を實質的に強力化せしめるであらう

五、英米の空手形政策は今回の新條約成立によつて拔差しならぬ馬脚を現はし、東亞人の對英米反感をますく增大せしめずにはおかない

中國の宿願達成
喜び語る謝公使

【東京電話】日華の基本條約が前遂した三十日東京麻布[illegible]の中國大使館は希望と喜びの空氣に包まれてゐた、蔡培大使はここ數日の間青木大東亞相、重光外相をはじめとして要人との會談のため多忙を極め、三十日の午前も外出中だつたが、今春同大使と一緒に着任して來た謝公使は『日本にとつても中國にとつても誠にお目出たいことで』と前置きしながら次のやうに語つた

今度の新條約締結は中國多年の念願で、われ／＼も今日までそのため努力してきましたが、日本政府の理解によつてこれが實現を見て心から感謝に堪へない、新條約の目的は中國の自由獨立にあつて、いよ／＼中國がアジヤの大國として新面目を回復するに至つた、今回の條約によつて中國の自由が確保されたばかりでなく、日本との同生共死の提携もいよ／＼緊密になり前途の希望はますます大きくなつた、不幸にして重慶はまだ日本の眞意に目覺めてゐないが、今後われ／＼としては中國の民衆に對して日本の眞意を闡明するためますく積極的努力をしたい

交換船帝亞丸
けふ昭南入港

【昭南卅日同盟】日米交換船帝亞丸は卅一日昭南に入港、同夜は同港沖合に碇泊、一日岸壁に横づけするが、乘船者一同は直ちに上陸、軍政監部員の案内でブキテマの忠靈塔その他戰蹟地を見學、夜は船内に宿泊、マライ音樂や芝居の慰問を受ける

米輸送船二隻擊沈

【ブエノスアイレス廿九日同盟】ワシントン來電=アメリカ海軍省はアメリカ輸送船ボストン、ニューヨーク兩號(共に四、九八九トン)はイギリス向輸送船團に參加して北大西洋航行中、ドイツ潛水艦の攻擊により擊沈された旨廿九日發表した

社説 日華同盟條約成る

一

日華同盟條約は卅日午前十時南京において調印され即日發効した。同盟條約は同日午前十一時南京及び東京において發表した條約正文、帝國政府聲明、國民政府聲明等によつて明かなる如く、日華兩國は茲に過去一切の行懸りに拘泥することなく、鞏固としての本然の姿に立ち還り相携へて大東亞の建設及び安定確保のため邁進することを盟約したものである。即ち『善隣友好の關係を維持するため相互に主權及び領土を尊重』『互惠敦睦の手段を講じ』『大東亞の建設及び安定確保のための協力』『互惠的經濟提携』の三點を眼目とするものであり、更に附屬議定書に於いて、中華民國全面和平成立の曉は帝國は中國領域内より全面的撤兵を行ふべき旨、而して北清事變に關する北京議定書及び駐兵權を抛棄することを規定し、しかも交換公文に於いて、中國に於ける既成の事項は戰爭狀態終了後根本的に調整する、戰爭狀態繼續中と雖も狀況の如何によつては逐次兩國間の協議により調整する旨を確約した。

二

帝國政府は本年一月九日の國民政府の參戰により米英兩國に對する共同の戰爭を遂行し大東亞に於いて道義に基く新秩序を建設し、ひいて世界平和の公正なる新秩序の樹立に貢獻せんため不動の決意と信念を以つて新中國と軍事上、政治上、經濟上完全なる協力をなし、中國の自主獨立と國民政府の政治力の強化に協力の支援をなし來つたのである。國民政府又帝國の眞意に全然共感し同生共死以つて自強の途を講じて來、兩國の關係は極めて廣汎なる發展を遂げ來つたのであるが、帝國は戰局の推移と東亞の現狀に鑑み、兩國關係に於いても新事態に卽應する如く之が調整を至當なりとし本同盟條約の締結となつたのである。

三

日華兩國の水魚の提携は兩國の歷史と地理的關係から言つて自然の大道で、米英は兩國共同の宿敵である。帝國は擧國一致、新中國と共に信じて大道を步み進んで、この宿敵を擊滅し、日華一體、大東亞戰爭を完遂に導き、以つて大東亞共榮圏建設の目的を達成することを期するものである。聖戰の目的は今更敢て喋々する迄もなく、米英の東亞制覇の野望を剿絶一掃し萬邦をして各々その所を得しめ兆民をして其の堵に安んぜしめる―卽ち八紘一宇の肇國理想の光被にあるが、日華の親善關係の現狀は、ビルマ、比國の獨立の事實、而して今又中國に於ける全面撤兵の確約事、凡そ米英的醜惡なる帝國主義の觀念よりしては到底理解し得ざる大精神、大事實が如何にも無理なく、しかも急速に着々と實現して行くことは、全く人意によるにあらずして神意によるものであり、萬邦比類の我が國體の精華そのものゝ顯現に外ならない。

四

帝國の理想、信念は着々と具現しつゝある。大東亞十億の盟友よ、帝國の力、帝國の崇高なる精神を信じ力とし、帝國と協力、米英擊滅に一路邁進せよ。米英の敗殘に翻弄されつゝ兄弟鬩に相せめぐの愚を敢へてなしつゝある重慶も、今こそ大悟一番すべき秋ではなからうか。神意による皇正の劍の下るところ邪は一刀寸斷さる。日章旗の征くところ妖魔は一掃され、天佑神助我にあり、必勝の信念に立つ我等は斷じて勝つ。我等の前途は勝利あるのみである。しかし天佑神助は我々一億が一致結束、捨身奉公、各自の力を最高度に努力し發揮した秋に初めて生れるもので、生やさしい努力などによつて偶然生れるものではない。深刻なる戰局を前にし日華同盟條約の成立を祝すると共に、東亞十億の盟主たる我等一億の責務の重大さを改めて痛感する。

印刷業等十業種
第二次整備要綱決定

【東京電話】商工省では戰力增強企業整備要綱の閣議決定以來、産業種別整備要綱の決定を急ぎ既に約三十業種にわたり廿四種の要綱を決定、關係方面に通牒し着々實施を進めつゝあり、殆ど整備を完了して直接戰力の增強に貢獻してゐる工場も相當數にのぼつてゐるが、卅日さらに次の十業種について整備要綱を決定發表すると共に關係地方長官、業者團體などに對し商工次官命令を發し急速に整備を進めることゝなつた、整備業種及び整備完了の時期は次の如くである

業種名	完了時期
一、硝子製品製造業	十九年一月末
二、板硝子製造業	十八年十二月末
三、リードワイヤー製造業	同年十二月末
四、三定コルク製造業	同年十二月末
五、紛碎用ボール製造業	同年十二月末
六、綿撚糸製造業	十九年一月末
七、メリヤス製品製造業	同年二月末
八、纖維雜品製造業	同年二月末
九、印刷業	同年一月末
十、ゴム工業	同年二月末

極祕情報傳達か
イーデン、ス議長と會見

【ストツクホルム廿九日同盟】ロイター特派員ハロルド・キングはイギリス外相イーデンとスターリン議長との會見につき廿九日モスコーから次の通り報道してゐる

イーデンはスターリン議長を訪問、現下の戰況について協議を遂げたが、右會見については事前にアメリカ代表ハルと連絡をとつてゐた、一年前チヤーチルがモスコーを訪問して以來、反樞軸軍の戰略戰勢についてはスターリン議長に口頭で報告する機會なく、然も電報でも報告出來ない極祕情報なのでイーデンが直接スターリン議長と會見して傳達したといはれる、右會見では又右についても話合を交換したと傳へられるが、チヤーチルは反樞軸軍の戰略を一切スターリン議長に報告したい意向で今度の會見もチヤーチルの發意にもとづいてゐる

總督府辭令(廿九日)

專賣局屬 鈴木正龍
同 栗岡民郎
任本府專賣局事務官(七)各通

鐵道局事務官 黑川莊
同 金原翊坤
鐵道局技師 服部保壽美
專賣局事務官 豐田豐
依願免本官(各通)

消息

◇岩瀨英一郎氏(三越社長) 來阪 挨拶のため卅日來社

發疹 咳鎮 注射液 コータミン
臨床醫家に急告
本劑は咳嗽頻發の原因たるナイセリア屬菌群の菌體成分を特殊操作により分離せる發疹元なり
氣管支加答兒 百日咳 喘息 肺結核 其他疲勞頻發せるものに奏効す
文獻 試供品 進呈
1cc×10A 1cc×50A 100cc・20cc
大阪市道修町三 伊藤由藥業合資會社 イトヨシ

安全完ウ空ヨナニル
酸素熔接器具修理
三共商會修理部
電話四八八九・二一六一五 釜山府本町三ノ六五

心身の錬成・會の誌友・天眞道々主 田村靈祥著
自分にこんな強い力があらうとは知らなかつたと全讀者驚嘆の書!
心身蒼脫 神の力と人の力 (公爵 一條實孝閣下 題字)
若しも貴方が病苦に泣き、打續く不幸に苛まれてゐたら、迷はずスグ讀んで下さい。讀むだけで結構、其の結果は苦痛や煩悶に對して曾て思ひもしなかつた强い信念、不思議な力が湧上つてきます。つまり之は、今まで貴方の中に眠つてゐた偉大な靈性の發現で、弱い人間の内部から、强いこの力を引き出してくれるのが本書の功德なのです。著者田村先生が、邪惡な迷信類似宗敎の氾濫を歎いて之等を眞向より排撃、眞の國民の心身を一人でも多く健やかに朗化し、此世の苦惱と悲みを一掃しようとする念願が凝つて遂にほとばしつた至眞に現の書です。
◆B六判・本文三百餘頁・寫眞入 ◆普及版特價 一圓五十錢 ◆別にクロース製上製本あり一圓八十錢 ◆送料各十五錢・御註文は左記へ振替か小爲替にて送料共代價送金の上御申込みあれ。好評絶版中卽刻御註文を―
取扱所 京城本町一丁目 ニコニコ食堂本店内 天眞道京城支部
書籍目錄發行所へ申越次第無代送呈
發行所 東京市小石川區東青柳町一ノ四十一 天眞道本部 振替東京八六五五六

文學博士 日夏耿之介 文學講筵(文學入門を語る書) B6上製 價二・〇〇 〒一四
同志社大學教授 楳垣實 日本外來語の研究(文獻・體系) A5 價三・五〇 〒二一
神戸高商 中村長之助 大學英語(大學程度の英語參考書) B6 價二・七〇 〒一八
スペイン公使推薦 神戸商大 坂本鐵男 フランコ將軍(傳記) B6 價二・五〇 〒一八
シャ・プルン原著 坂本鐵雄譯 フランスのその後 B6上製 價一・八〇 〒一四
以下學習受驗參考書―(送料八個留料ヲ含ム)
浪速高校 宇佐美教授 國文解釋の重点 價一・七〇 〒二四
神戸高商 橋戸教授 英文解釋の重点 價一・七〇 〒二〇
理學士 小島教授 概觀物理學 價一・九〇 〒二〇
關野先生創案 英語を覺える歌 價一・九〇 〒二〇
四十ヶ年合本 ヒント附 高商受驗 簿記問題集 價一・九〇 〒二〇
大阪市西區土佐堀通二 青年通信社 振替大阪一二二七九
高校高專 受驗通信添削會 科目 國語・漢文・英語・英作・數學・代數・幾何・物象 毎週發送 案内進呈

宋榮堂新刊
住原こもと著 荒鷲の母は泣かじ
著者は日露戰役參加男士たる夫君との間に男子五名をもうけ、これを皆航空將兵に育て上げたのみならず、長男を除く四名は相次いで戰死、或は殉職せしめた軍國の母である。本書に蒐めたる作品には、敵意の涙なく徒の感傷なくひたすら報國の赤誠と世俗の母性愛を吐露せるものにて、讀者をして感涙措く能はざるものがある A5上製 價二・六五
朝日新聞特派員 十河巖著 ジャワの旋風 價共一・二〇
海軍の手厚く冲上に敵前上陸して旋風の殲滅をなし遂げた生々しい血戰記、ジャワ殲滅記―
朝日新聞特派員 西田市一著 彈雨に生きる 價共一・二〇
要衝戰にジャングル戰闘に第一線男士と辛苦を共にせる著者の決死從軍記錄
陸軍豫科士官學校教官 野原博著 初級軍事數學(圖解) 價一・二〇
少年戰車兵
大阪市南區安堂寺橋三越北入 振替大阪一二四二番

西田直二郎監修 赤木志津子著 紫式部とその時代 價二・六八 新刊弘報第十六號
史家の立場より見た紫式部研究書 從來の國文學方面の研究書が一面的に過ぎたるに鑑み、本書は幾多の資料を基礎として平安朝時代の歴史的社會、歴史的人物を解きつゝ源氏物語の作者紫式部の全貌を明らかにす。
新刊 立命館大學教授 岩根保重編 生駒山脈の地理と歷史を語る (近刊)
隣國以來史上重要な舞臺をなしてゐる生駒山脈に對し、その自然、歷史、文化につき地理的及び歷史的考察を行ひ、以て我々の祖先の生活して來た國土の姿を反省教諭せんとしたものである。
好評書
理學博士 小倉金之助著 訂正十四版出來 統計的研究法 價五・四六 新刊弘報第十四號
文學博士 松本潤一郎著 戰時社會文化 B6判四六四頁 價二・九三 新刊弘報第九號
關西學院大學教授 竹友藻風著 藻風小品 A5判二四〇頁 價二・一〇 新刊弘報第七號
文學博士 西田直二郎著 國史通記 國民版 A5判三六八頁 價一・五七 新刊弘報第九號
東京 株式會社 積善館 大阪

一歩一歩米英壓迫（週間戰況）

巡艦二隻を轟沈破 モノ島上陸の敵を痛撃

【東京電話】敵は廿七日俄然わが前進基地ブーゲンビル島ブイン正面モノ島に上陸、新攻勢を展開しソロモン方面の血戰は新たに熾烈の度を加へた、ニユーギニヤ島フインシハーヘン地區の戰鬪はますます激烈を極めてゐるが、戰鬪の指導權はわが方に握られ、歩一歩敵軍を壓してゐる、モノ島に對する敵の新攻勢は同方面における目の上の瘤であり、わがブイン、ラバウル兩基地を壓倒せんと企圖することはもちろんであるが、同時にこれによつて苦戰中のフインシハーヘンならびにマダン南方ラム河畔の戰鬪を牽制せんとする意圖をも多分に含んでゐるやうである、その他の地區では今週は大なる變化はなかつたが、最近敵の航空機生産および補給は一線機を潤澤に補給し、大東亞全域において一日平均延五百乃至六百機を飛翔せしめてをり、物量を挑む敵に對し皇兵よく奮戰しつゝあるわが勇士に對し、感謝の念を捧げなければならぬ

北太平洋方面

その後何ら變化なし

支那方面

(イ)地上作戰(北支方面) 秋の剿共作戰は隨所に匪團に對し機烈積極的な掃蕩作戰を實施中である、また赤化の根據ともいふべき晋北異教の大岳、その他の匪軍の蠢動を完封してゐる (中支方面) 武漢周邊においても討伐戰が續行され、最近一ケ年に大別山脈戰、寧秦、夏季南方面に對し軍を下しつゝ共匪軍作戰を初めとし約三千回に及び殲滅掃蕩戰が行はれ、遺棄死體八萬一千九百、俘虜および歸順七萬八千といふ戰果を收めた (ロ)航空作戰 今週は北中支方面はほとんど敵の來襲はない、たゞ十月廿六日海南島にB25、B24が十四機來襲したが、わが空中部隊はこれを邀擊してB24四機を擊墜し、わが方も二機を喪失、小型機的に壯烈な損傷を受けたが被彈機のうち一機は壯烈な體當りにより敵機とともに散華したものである

北部佛印方面

國境方面の重慶軍には大した動きはない、十月中旬の敵來襲六回、延十三、四機、前旬に比し非常に減少した

ビルマ方面

(イ)地上作戰(緬支國境) 怒江東岸に逼迫を企てた敵は完全に退路を遮斷され、敵首腦部は支離滅裂せる部隊とともにわが包圍圏内を彷徨し各所に殲滅されてゐる (雲南國境) 依然モンドウ正面に敵は兵力増加中で反攻作戰準備中らしいが大した變化はない (ロ)航空作戰 わが航空部隊は雨季明けの十月二十日以來連合でチツタゴンを襲ひ同廿三日にはナーフ河北流タンブル、向廿五日には裝甲省、下關または同日コツクスバザーに進攻し各々大なる戰果を收めた、十月中旬の敵機來襲二百廿五回、延七百四十機でそのうち十二機を擊墜また同月廿六日にはラングーンにB24廿五機來襲したがわが航空部隊はその三機を擊墜した、敵は北部ビルマ、アキヤブ方面のわが第一線への出擊頻繁でこれと併行して全般的に敵の偵察活潑にして地上部隊とともに雨季明けの反攻を準備しつゝあるらしい

印度洋方面

敵機の行動逐次活潑化し、廿四日アンダマン諸島ポートブレヤーに大型爆擊機一機來襲、わが猛攻に遁走、廿六日ニコバル諸島にB24一機來襲、わが荒鷲は洋上遠く四十分にわたりこれを追擊擊墜した

南太平洋方面

(ソロモン方面) 十月下旬のブーゲンビル島に對する敵機の來襲は殆ど連日なくその攻擊も熾烈を極めブインに對しては十九日大型機六十四機、戰鬪機四十機合せて百四機の戰爆連合の大編隊をもつて來襲わが戰鬪機隊はP38三機を擊墜廿日はF6F、F4F新鋭戰鬪機廿機來襲し、うち十三機を擊墜、廿二日朝四發大型、中型戰爆併せて延機數は百廿六機が前後三回にわたつて來襲、わが方は地上砲火により中型爆擊機三機を擊墜、廿六日には朝から前後六回にわたりB24、B25の陸上爆擊機同戰鬪機の大編隊、延機數三百廿數機をもつて來襲、わが陸海部隊はこれを邀擊、擊墜八機を擊墜した、廿二日からのブーゲンビル島に對する敵の來襲は廿五日までの四日間に延機數實に六百五十二機、一日平均百六十三機、またことに廿六日は一日で三百三十機、廿七日朝ブイン六十キロの距離にあるモノ島に敵の一部隊が上陸した、これに對しわが航空部隊は直ちに敵の揚陸地點を邀擊、巡洋艦一隻を轟沈、一隻を擊破した

この方面の反攻に呼應してはニユーブリテン島ラバウルには十八日B25、B26約八十機、B24十機が來襲、内九機を擊墜、廿五日P38約24、P.B2V延百十六機をもつて二回にわたり來襲P38二機を擊墜、B24十四機を擊墜、このうちわが方も若干の損害あり

ニユーギニヤ島方面

(イ)地上作戰 フインシハーヘン附近及びマダン南方ラム河右岸地區では依然激戰展開中である、同附近の制空權は敵の手中にあるも、わが第一線將兵は困苦缺乏に堪へ、士氣旺盛に大損害を與へてゐる (ロ)航空作戰 地上作戰に併行し航空決戰も熾烈を極めてゐる、マダン北方地區においては十月十六日敵の戰爆連合廿六機の來襲を邀擊しP40、P43計五機を擊墜したほか四日には同地區に來襲せるB25四機を地上火器により又廿五日にはマダン南方地區で二機を擊墜した

一方わが荒鷲は敵後方攪亂のため海洋に出擊廿日未明フインシハーヘン、ホボイ方面の敵輸送船團を捕捉、ホボイ海上において前後四回にわたり低空爆擊を加へ中型輸送船一隻を擊沈、油槽船一隻を擊破した、又廿二日未明ニユーギニヤ島東北方ウツドラーク島、トロブリヤンド島の敵飛行場を爆擊し、地上の敵機一機を地上擊破した

バンダ海方面

十月中旬敵機はバンダ海域の各所に五十九回延百四十七機をもつて來襲したがわが方の損害は輕微である、うち主なる來襲は廿一日チモール島に廿二日アンボン、各大型機三機來襲、何れもわが地上火器により擊墜された、廿六日セレベス島ボマラ方面にB24四機來襲うち二機を擊墜、この方面の敵航空部隊は戰爆連合をもつて來襲せる模様で敵の動向は注視すべきものがある、中部太平洋方面には廿一日B24一機が南洋群島南端のケリニツチ島に來襲した

軍事 軍艦の種類（一）

七つの海に活躍する帝國海軍に、我が半島同胞も海軍に志願出來る制度があり、既に第一回志願者が鎮海で訓練を受けてゐるから、海軍に對する知識を養つて置く必要があらう、海軍の艦艇には種々あつて數萬トンに上る戰艦から驅潛艇を總稱して海軍艦艇と呼んでゐる、以下これを細別すると次のやうになる

艦艇と特務艦艇 先づ艦艇から細別するとこの中には軍艦、驅逐艦（一、二等）、水雷艇、海防艦、潛水艦（一、二等）、掃海艇、驅潛艇の七種になつてゐる

特務艦艇には特務艦、特務艇があり、特務艦は工作艦、運送艦、碎氷艦、測量艦、標的艦、練習特務艦の六種類にわけ、特務艇といふのは敷設艇、哨戒艇、驅潛特務艇、掃海特務艇、潛水母艇、電纜敷設艇、魚雷艇と七種がこれであつて、それ〴〵艦種名に種類にわけてゐる

判りよくいへば特務艦艇とは、敵に直接ぶつかれば敢然鬪ふが本來は戰鬪を目的にしないもの、艦艇は敵艦艇を叩き潰すのを目的にするものと思へばよいわけである

また艦艇に入つてゐる軍艦と稱するものも九種類にわけてある

戰艦、巡洋艦（一、二等）航空母艦、水上機母艦、潛水母艦、敷設艦、砲艦、練習戰艦、練習巡洋艦

がこれであつて、それ〴〵艦種名と艦種名が異る毎にその任務も亦異つて來るのは勿論である

軍艦の重要任務 軍艦は海の浮城として戰時には敵の攻擊を防ぎ、進んで敵地に近づき攻略するのは今更説明するまでもなく、大東亞戰爭以來數知れず現實に見せつけられてゐるが、平時には我が領海を警備したり、外國居留民を保護する任務をもち陸軍と同樣國家鎭護に當る、軍艦が外國の港についた時は、國際法で我が國土の延長と見做されてゐるから外國主權は一つも及ばない

從つて少くも帝國艦艇は外國政府の命令には服する必要がなく、若し强ひて權力を及ぼさうとするならば武力によつて拒絶してもよい特權を有つてゐる、この場合は特務艦艇もこの特權をもち、いつ如何なる時と雖も帝國海軍の名譽を傷つけられぬやう海軍々人は立派な行動をとるのである

麥類價格大幅引上

精米價格と均衡を考慮

朝鮮主要食糧の絶對自給自足を期してゐる政府では食糧增產の積極化を圖るため生產費、物價など現下の實情に顧慮してこのほど麥類買上價格の大幅値上を斷行したが、朝鮮では内地に呼應、昭和十九年產麥類及び雜穀に對し價格引上を行ふことに決定、卅日次の通り農林局長談を以て發表した

農林局長談

内地は我が帝國食糧の外米依存より脱却し眞に自給自足態勢の確立を圖るの要切なるものあるに至りたると、帝國の食糧が麥類增產に對する依存度極めて大なるに鑑み目は、さきの米價引上措置との均衡を圖るべく昭和十九年產麥類の價格につきその標準買入價格を石當大麥八圓餘、裸麥十二圓餘及び小麥十二圓餘の大幅引上げを斷行し麥類買上價格に付ては精米價格との均衡を考慮し大麥、裸麥及び小麥共夫々若干の引上げをなし、此等價格間の差額を國庫に於て負擔することに決定したが、朝鮮に於ても麥類の增產については諸般の施設を講じて來たが、これが價格對策については今次内地側措置に呼應することに方針を決定し、食糧として麥類と同等の地位を占める麥類以外の雜穀に對しても麥類と併行し價格引上を講ずべく目下其價格の樹立を取急ぎつゝあるが麥類、雜穀共これが値上額に付ては生產費、物價其他朝鮮の特殊事情を參酌の上決定する方針である、現下麥類の播種及び雜穀の收穫期に當り生產者各位におかれては右政府の意圖する所以のものを充分に諒得し增產供出に一段と奮起邁進せられんことを懇望して止まぬ、なほ一般消費者各位においても叙上の趣旨に生產者の勞苦に思を致し消費の規制を確守し以て決戰體制下の食糧對策に協力せられんことを切望する

指示廿八件 農地營團出張所長會議

朝鮮農地開發營團初の出張所長會議は廿九日午前九時から中樞院會議室に開催、全鮮十八ケ所の所長並に營團本部より渡邊理事長以下幹部出席、總督府側一杉土地改良課長以下關係官臨席、國民儀禮の後渡邊理事長より職員の服務に關する訓練の徹底、關係官廳との聯繫緊密化、勞務、食糧、資材の確保、工事の促進等各般に亘り訓示をなし引續き指示事項に入り正午休憩、午後は出張所狀況並に地方事情につき各出張所長の説明あつて五時すぎ散會した、會議は卅日も續行、出張所よりの希望意見の開陳があつた、指示注意次の通り

▲職員の鍊成▲職員の服務▲技手、技手補任用考査▲關係官廳その他との連絡▲對請負人關係▲文書の取扱▲區域外出張手續履行方▲邑面國民總力聯盟と協力方▲豫算の經理▲會計事務の取扱▲勞務者の出荷指導▲食糧配給▲勞務管理▲賃金公定▲國民職業能力申告手續▲工事の施行▲請負工事證明細書▲測量機械器具の取扱▲工事完成後の維持管理▲各月工事出來形檢査▲工事施行上參考となるべき資料蒐集▲工事工程圖表▲工事の戰時規準規格▲資材配給連絡▲配給資材代金▲貸與機械器具の取扱▲セメント配給及び資材橫流防止

今や輸送戰爭 福井下關管理部長着任談

【下關特電】新任下關管理部長福井太郎氏は廿九日特急『富士』で着任したが左の如く語る

今は輸送力戰爭の時代だ、無事故輸送、港灣荷役の能率增進等大いに研究し關釜間の輸送力向上に努力するつもりだ

荷役施設等刷新

日鐵兼二浦で現地協議

鐵鋼統制會朝鮮支部では日鐵兼二浦の飛躍的增產態勢確立のために荷役施設をはじめとする構内の整理刷新が急務であるので二日現地に日鐵側は勿論、總督府鑛山課、鐵道局、船舶運營統制會等關係官が會合、協議することゝなつた

目標額の三九%九

上半期、貯蓄獎勵實績

朝鮮における十八年度上半期中の貯蓄獎勵實績は本府財務局において取纒め中のところ、このほど集計を終り、卅日總督府より上半期（四月—九月）中の各道別および各金融機關別貯蓄實績を次の如く發表した

すなはち十八年度における各道別貯蓄目標額は今年度十二億貯蓄目標に對し株式および社債方面への投資見込額二億五千萬圓を除いた九億五千萬圓で、これに對し上半期中の貯蓄實績は三億七千九百四十二萬五千圓で三九%九といふ成績を示した、これを各道別にみると江原道の六〇%を筆頭に平北五四%六、黃海四七%四、咸北四五%三、慶北四三%四、忠北四二%一、忠南四一%一の順位で平均實績に充たない地方は平南、慶南、全南、咸南、京畿、全北六道で、特に京畿道が第十二位であることはいま一段の奮起が要望されてゐる

右貯蓄實績を十五年同期の三九%、十六年同期の三二%に比すれば、若干の向上は認められるが、前年同期の四二%五（各道總額七億目標に對し二億九千七百九十三萬一千圓）に對比するとき目標額が十二億目標となつたとはいへ、十二億目標到達未だしの感がある

次に上半期中の各金融機關別貯蓄實績を見るに金融組合は七千四百二十九萬八千圓で前年同期に比し四千三十九萬三千圓の增を示してをり、これにつづいて郵便貯金が四千八百三十三萬六千圓、生命保險四千三百六十六萬八千圓、簡易保險三千五百十六萬五千圓、貯銀三千五百一萬圓となつてをり、いづれも前年同期に比し相當額の貯蓄增加を見せてゐる

またこの期間中の國債賣却高は三千八百二十萬五千圓で、前年同期に比し九百六十一萬七千圓に增加してゐる點は注目すべきものがあり、特銀、普銀、東拓、無盡方面の預貯金不振に比し金融組合、郵便貯金、簡易、生命保險などの成績がよいのは大衆層の預貯金熱の强いことを物語るものである

なほ今後の貯蓄傾向としては米買上價格の引上げ、生產獎勵金、企業整備斷行に伴ふ撒布資金の回收および年末の賞與期を狙つて相當の實績を收め得るものと見られてゐるが、卅日の貯蓄評議會においても貯蓄增强の具體案を討議し總督府としては十二億目標額の一割程度の突破を目標に下半期の貯蓄戰に拍車をかけることになつた

（一）昭和十八年度上半期貯蓄實績内譯左の通り（單位千圓）

道別	目標額	貯蓄實績	歩合
京畿	三四八、〇〇〇	一三七、三九〇	三九、五
忠北	一四、〇〇〇	五、九〇四	四二、一
忠南	三〇、〇〇〇	一三、四〇八	四一、一
全北	四四、〇〇〇	一三、〇八一	二九、七
全南	五四、〇〇〇	一九、九七〇	三六、九
慶北	六〇、〇〇〇	二六、〇八六	四三、四
慶南	一〇〇、〇〇〇	三九、三八九	三九、三
黃海	三九、〇〇〇	一八、五三三	四七、四
平南	六〇、〇〇〇	二六、六六八	三九、七
平北	四八、〇〇〇	二六、二三一	五四、六
江原	二六、〇〇〇	一七、四〇八	六七、〇
咸南	六四、〇〇〇	一九、六四四	三〇、七
咸北	四四、〇〇〇	一四、〇五八	四五、三
其他		二、八九九	
合計	九五〇、〇〇〇	三七九、四二五	三九、九

▲備考、その他は簡易保險の朝鮮外保險料および内地證券會社の鮮内における國債等賣却高とす

（二）昭和十八年度上半期金融機關別貯蓄實績（△印減）

機關別	十八年自四月至九月	前年同期比
銀行	二六、八五三	△三、六六八
特銀	二六、九四一	△三、三八八
普銀	四五、九三一	△四、〇八
貯銀	三五、〇一〇	一四、九八六
信託	一〇、六九九	三、三五〇
東拓	△三、八五〇	△三、二三〇
金組	七四、二九八	四〇、三九三
無盡	四、〇九九	△一、〇三八
郵貯	四八、三三六	一八、八九九
簡保	三五、一六五	九、九六五
生保	四三、六六八	六、〇八六
國債	三八、二〇五	九、六一七
總計	三七九、四二五	八八、五〇四
目標額に對する割合	三九、九%	四二、五%

企業整備委員 可決原案（完）

配給部門整備要綱

朝鮮に於ける醫藥業者は醫藥の流通發達が近年の事に屬する關係上業種に依りては未だ必ずしも整備せらるるに至らず健全なる經營組織の根底たらしむるものとあり内地と其の趣を異にするものあり地方配給部門全般を通じ其の配給の現狀は形式的取扱に堕するの面あるを以て統制の緩和を促し或は販賣行爲統制に陷るの弊なしとせず整備に當りては之等の關係を十分に考慮しつつ文化生活程度及生活樣式の變遷並に消費物資に對する其の需要度等を勘案し其の特殊性を考慮すべきも整備に關しては物資の配給統制等に關聯し物資毎に關係方面の實施を圖り來りたるものあるのみならず各種物資の配給機構の特質に應じ其の整備を期すべきものなるも全般を通ずれば概ね次の方向に整備せらるるものとす

▲方針 一、配給機構の整備に當りては既存醫藥業者の經營單位の維持と醫藥組織の整備を圖り整備せられたる醫藥機關をして配給業務を擔當せしむるを原則とし配給業務を擔當する諸機關相互間に於てのみならず生產業者、需要者又は其の團體に於て資金を新に投下して配給部門に進出するを排除し左に依り措置すること

（1）生產者の製品は原則として之を認めざること（2）生產者が直接販賣を爲すを通常の營業とするものに在りては之を認むること（3）前號の外生產者が自己の生產品に付卸賣又は小賣を爲す實績ある場合に於ては卸賣の小賣業者の團體に加入せしむるか適當なる連繫方法を講じたる上必要に應じ之を認むること（4）生產者が自己の生產品の外他より商品を仕入れて之を販賣したる實績を有する場合は其の實績に付ては之を販賣業者として取扱ふこと（5）購買組合、購買會等に依る物資の配給に付ては其の實績を認め新規配給は一般配給業者に依る配給に著しき影響なく而も統制上必要なる場合に限り之を認むること（6）購買組合、購買會等の新設は原則として之を認めざること（7）町會（町聯盟）愛國班等に付之が購入斡旋の配布を擔當せしむることは支障なきも現品の配給及現金の取扱は之を爲さしめざること（8）現存農林水產團體及百貨店と一般商業者との間に夫々必要に應じ適切なる營業分野の調整を圖ること

二、重要原材料資材國民生活必需品等適正價格の嚴守、配給の圓滑物資偏在の防止等を特に緊要とする物資に付ては速に配給統制の徹底を期すると、配給統制の實施に際しては各業者の創意工夫を活用し共勵せしむべき方策を講じ組合等に依る團體取引に依らしむる場合は所謂トンネル配給に墮せざるやう留意すること

三、配給機構の整備に付ては藥種生產業者又は需要者側の事情を參酌することを肝要なるも概ね左の方針に從ふこと

（イ）卸賣機構 1少數の大規模生產者に對し少數の大口需要者ある場合に於ては中間配給機關を一段階に整理し必要あるときは生產者團體と需要者團體との直接取引を認むること 2少數の大規模生產者に對し多數の大口需要者ある場合に於ては元卸及卸の段階を認むる必要あるときは大口者を綜合して一段階に整理すること 3多數の小規模生產者に對し多數の小口需要者ある場合に於ては產地問屋及消費地卸の段階を認むる必要あるときは集散地問屋を認むること 4多數の小規模生產者に對し少數の大口需要者ある場合に於ては產地問屋を一段階に整理し必要あるときは生產者團體との直接取引を認むること

（ロ）小賣機構 1生活必需品に付ては小賣の段階とを通ずること 2、從來の小賣業者の擔當せる配給系路は可及的にこれを尊重すること（2）左の要領により配給業者を組織化すること イ、元卸賣業者又は集散地問屋に付ては概ね全鮮を地區とし又は經濟圏別に商業組合を設立すること、ロ、地方卸商又は產地問屋に付ては道又は經濟圏別に商業組合を設立すること、ハ、卸小賣の既存業者の經營に限り卸小賣の兼營を認むるも兩者の經濟を混淆させざるやう配給統制上留意すること

四、配給部門の整備は取扱商品の減少に依り經營困難に陷り又は陷る虞あるもの、過剩濫立にして整理を必要とするもの、配給統制又は物價統制上緊施を要するもの等より實施すること

五、内地人の鮮内增加定着を確保する爲其の優良なるものに付ては成るべく從來の企業を繼續せしむるやう考慮すること

▲實施要領

一、整備すべき業種及整備計畫は朝鮮總督府企業整備委員會に諮問し本府に於て決定すること

二、整備計畫の樹立實施に際しては朝鮮產業物資營團、商工會議所其の他業者の團體をして適宜參劃せしむること

三、整備の實施は本府若は道其の他の地方官署又は雙方に於て所管し所管官署及業種は本府に於て別に之を定むること

四、道其の他の地方官署に於て整備を實施するものに付ては第一號に依り決定せられたる整備計畫に基き實施すること

五、前號の外特に地方的に整備を必要とする業種に付ては道に於て具體的計畫を樹立し本府に稟伺せしむることゝすること

六、道其の他の地方官署に於て整備を實施する場合は道企業整備委員會に附議せしむること

七、整備に當りては卸賣及小賣に付ては原則として個人企業形態を存置するものとすること

八、整備に當りては取扱實績の外納稅額營業年數轉換の難易、店舗の位置分布企業の經營規模信用等を考慮すると共に消費者の便宜をも勘案すること（1）殘存業者の決定に當りては特に納稅額營業年數信用記帳能力記帳の眞正其の他其の整備狀況をも勘案すること（2）店舗の整理數の決定に當りては配給の適正化を目途とし店舗の位置分布企業の經營規模轉換の難易等を考慮し此等間の調整を圖ること（3）殘存業者の經營規模は適正限經營を目途とすべきも之が決定に當りては必ずしも實績のみに捉はれざるやう考慮すること

九、小賣業の整備に當りては左の事項を考慮すること（1）都市と郡部に付ては夫々事情を異にするを以て劃一的に取扱はざること（2）各種の物資を取扱ふ小賣業に付ては其の營業全體の事情を勘案し其の取扱物資の各別に付整理を行ふが如きことは之を避くること（3）修繕を兼ぬる小賣業に付ては修繕增加の實情に鑑へ利用者に不便を與へざるやう留意すること（4）郡部に於ける小賣業の整備に當りては地方の實情に即し消費者の便宜上又は小賣經營上要すれば各種の物資を取扱ふ店舗を分散存置すること

十、行商、露店商は統制經濟の運營上支障なからざるものあるに付郡部に於ける一號市場を利用し生活必需品の販賣に從事する者の整理に付ては相當考慮を要すべきも其の他の者に付ては可及的多數整理すること

石油統制 倍額增資

朝鮮石油統制では來月十一日午後一時から京城本社に第五期株主總會を開き當期利益金處分案（配當年六分据置）資本金增加、定款變更ならびに增資後財產の取得契約をなすの件を附議したのち監査役田中鐵三、木元四郎兩氏の任期滿了に伴ふ後任補選を行ふ、しかして資本金增加については現在資本金三百萬圓を倍額六百萬圓（全額拂込み）に增資するがうち百五十萬圓は朝鮮石油、百三十二萬圓は現物出資、殘りの十八萬圓は現金出資を行ふことになり右增資額は事業擴張に要する施設費に充當する

週間世界の動き

大東亞憲章の闡明 世界道義示す臨時議會

第八十三臨時議會の劈頭東條首相はその施政演説に於いて『多年米、英、蘭の壓制に苦しんでゐた大東亞は今や大東亞のための大東亞となり、道義に基く新しい世界建設の先驅として力強い發足をしてゐる』と述べ、大東亞の政治建設が今や一應の完成段階に近づきつゝあることを示唆したが、卅七日の豫算總會で中島彌團次氏がこの問題を捉へ、この際更に『大東亞十ケ國民族總憲』『大東亞十億民族綱紀』のために大東亞建設方針を明示すべき必要につき質したに對し、東條首相がこれに賛意を表したのは頗る注目に値しよう

中島氏が提示した建設方針とは

一、人種的差別の撤廢

二、民族の互助平等

三、互惠主義による經濟提攜

四、文化の交流

五、資源の開放

六、大東亞共同防衞

の六ケ條より成るものであるが、この諸項目は何れも既に帝國政府が實施に移し、或は移さんとしつゝある大方針であり『八紘爲宇の大精神を基調として』てゐる點に鑑みても『大東亞憲章』への有力なる一提案であるとみることが出來る

重光外相の同氏に對する答辯も要約すれば、この六項目の敷衍であつた、從つてこの六項目はその内容からいつても一議員の提案といはんよりは、帝國政府の大東亞建設精神の一つの機能的且つ演繹的結論であるといひ得るもので、今次議會において斯かる提案が行はれたことはそれ自體大東亞建設が一定段階に到達し、正に世界に向つてその方針を闡明すべき時機に到來しつゝあることを示すものだらう、さういへば議會の終末に當つて衆議院が『大東亞總動員に關する決議』を上程可決したことは同樣のことを意味するものであつた

曖昧模糊と

六項目の『大東亞憲章』案が問題となつたことゝ關聯して想起されるのは敵側の『大西洋憲章』である、さうしてこの敵側の憲章を改めて我國のそれと比較對照して見ることは無意義な試みではあるまい、眞つ先に考へられるのは大西洋憲章の對象が曖昧模糊としてゐるのに對して我が國のそれは明瞭なるものであり、大西洋憲章はその各項目は一見するまでもなく名實相異つて、『世界』を對象としてゐるのである、米英はその中で一切ならず『總ての國家』といひ、また『一切の國民』といふ表現を用ひてゐる、然るに拘らずこの憲章には『大西洋』といふ限定的な名稱を附してゐるばかりでなく、例へばチャーチルなどは臆面もなく『この憲章は印度には適用されず』などと言明してゐるのである

それならば一體大西洋諸國はその憲章に謳はれた『自由平等』や『領土不擴張』などの原則によつて保護されつゝあるかといふと然らず、ポーランドやバルト三國はいまや三國會談に於ける政治的妥協成立のため犧牲に供せられようとしてゐると傳へられてゐるのである、かういふ次第で一體大西洋憲章は誰のための憲章か一向明瞭でない、内容は一見人心を收攬するに足るやうな種々の美辭麗句を並べてゐるが、米英はその適用範圍を明かにしないばかりか、都合次第で片ツ端から印度だとかポーランドだとかを適用外に排除して行くのだからこれでは誰にも適用しない空憲章に等しいのである

ところが一方わが國のそれは範圍を實すまでもなく限るはつきりした適用範圍をもち、既にそれ〴〵その圏内各國に憲章の精神が適用され具現されつゝある、この點を擧げただけでも

彼我の相違

が如何なるものであるかを知ることができるが更に二、三の點を指摘すると次の通りである

一、大西洋憲章は自由平等を謳歌しながらその何れの箇所においても肝腎の人種的平等を謳つてゐない、これは米國が支那に於いて最近不平等條約の撤廢を實施しながら、尚且差別の移民法だけはこれを撤廢せずに活かしてゐる態度と一致する、中島氏の提唱する憲章案が第一に『人種的差別の撤廢』を擧げ、また帝國政府が凡ゆる對外施策において既にこの精神を具現しつゝあるのと比べて大なる相違である

二、大西洋憲章は『凡ゆる國家』といひ『一切の國民』などといふ文句を頻繁に使用してゐるが『民族』といふ言葉は一語も使つてゐない、これは不合理なベルサイユ的アングロサクソンの的舊世界秩序への退嬰企圖の露骨な表現といつても差支へないが、我が大東亞諸國は既に早くより全的且つ大乘的な民族主義に基く

舊體制打破

を主張してゐることは周知の如くであるが、何よりも大東亞共榮圈の建設はそれ自體大東亞民族主義の具現であり、十億民族がこれに協力して邁進しつゝあることはその合理性を立證する最もよき材料だらう

三、中島氏の提案が『文化の交流』を掲げてゐるのは、注目に値する、米英人が日頃『文化』を云々してゐるに拘らず、大西洋憲章の何處を眺めても『文化』の文字も見當らない、彼等の戰爭目的が文化とは縁もない野望であることがこゝに明瞭に現はれてゐるのである、外電によると彼等は歐洲各地に於いて際限なく歷史的遺産文化、學校圖書館等を容赦なく爆破し、一方またイタリー本土上陸に際しては軍隊の後から古美術商を從へて重要美術品をどしどし戰利品として運び去つてゐるといふが、これが大西洋憲章に『文化』の字の見えない理由である

以上の外にも多くの指摘すべき點があるが、右によつてみただけでも如何に敵側憲章が欺瞞に充ちたものであるかを知ることができる

空文である

かゝる欺瞞的憲章が如何に麗々しく宣傳せられた所で、それは何らの效果も意味するものでない、我方は徐々に實質を以て、その方針を示し、然るのち正義の存する所を世界に問はんとしつゝあるのである、大東亞憲章は未だ公式のものとして具體化されてはゐないが、大東亞の建設狀況、第八十三議會の樣態その他にかんがみ、その具體的示現も遠からずと推測されるのである

隨想錄

關釜連絡船とか內台航路とかいふ非武裝汽船を狙ふ敵潛水艦の蠻行こそ憎むべきである▲護衛艦や哨戒機の眼を潛れ、海へ入つた土龍の如く逃げ廻りながら、こちらが攻擊力を持たぬとわかると、急に强くなるのは、如何にも米國が鬼畜的性格の持主であるかを暴露したもの。この"人道の敵"は擊滅せねばならない▲だが、戰爭である以上、彼我の息の根を止める爲に我方も皮を斬られ、肉を刺されるのは仕方がない。沈沒した汽船と運命を倶にした人々の仇は、我等一億が討つのだ▲茲で國民として心得ねばならぬのは、不急不要の旅をして、鎮秘の爲に犬死しないことである。戰爭目的遂行の爲に乘つてゐたのなら、戰死したものとして冥することもできるのだが、潛艦が狙つてゐるからといつて、海を渡るのに臆病になつてはならぬが"私"の用事で大切な輸送力を浪費させては申譯がないし、無駄な死に方をして國家に手數をかけてもならぬ▲汽船のかゝる事故は、やむを得ないとして、汽車の衝突などで尊い人命の失はれるのは何としても殘念である。決戰下に一粒の米も大切である如く、一人の力もまた惜しいのである▲常磐線の事故で喪はれたのは、關釜連絡船で失はれたそれと同一に見ることは出來ない原因は國鐵從業員の過失かも知れぬが、心なき人々が過度に疲勞させた點も考へねばならない▲わが半島でも、買出しや、遊山の客は自粛し、戰爭に直接關係のない物は輸送を遠慮して、徒らに鐵道從業員を過勞に陷らせぬやう、それで事故を起さぬやう協力すべきである。

頑症の 痔と皮膚病に

先驅に近き殺菌消炎力と共に抗病力の强化、旺盛なる代謝機能賦活等相乘効果顯著にして左記疾患に對し奏効を奏す

痔疾（痔核・脫肛・裂肛・痔瘻）濕疹・皮膚炎・化膿症

外用 殺菌消炎劑（文獻呈）

カミツクス

（全國藥局ニアリ）

製造元 神戸市兵庫區 山數新榮部

實業之日本 十一月一日號 四〇錢

軍需省運營への要望 運輸通信省設置と輸送力・楢崎敏雄

國民資金の總戰力化 戰爭經濟の科學的運營・野田卯一

焦躁は大國民の態度に非ず……增田義一

家の精神と家風 高須芳次郎

言語から見た民族戰 川上健三

伍堂卓雄 竹内可吉 春日井薫

勝ち拔く生活態勢 ・必勝經濟と國民生活……鈴木憲久 ・統制道……佐々井信太郎 ・勝ち拔く信念と生活……上野陽一

內線作戰と外線作戰 米國の兵器工場を探る 歐洲戰局の新樣相

戰爭と地下資源「探鑛」を語る座談會

企業轉換實地踏査 (3) 絹・人絹の北陸一巡 本誌特派員

大洋 十一月號 40錢 文藝春秋社

水路啓開隊進擊 大塚少佐

海事思想を普及した先覺者達……山縣武夫

ベンガル灣……柴田賢一

アメリカの科學動員……後藤正夫

清水高等商船學校……小坂英一

御朱印船時代の航海……住田正一

△海軍作戰記錄……近藤良信

△キスカ撤收記……三厨正

航空適性と少年……清水崑

空と鬪ふ醫學……緒方富雄

南方みてある記……藤田出造

海の時局雜誌 海の綜合雜誌

米空軍擊滅 實戰將校座談會

航空兵力の急務 海軍中將 大西瀧治郎

敵の空襲と防空 海軍大佐 齋藤正久

敵反擊の全貌 海軍中佐 清水洋

潛水艦の傳統と戰鬪 浮田中將

空襲への備へはよいか

戰爭災害の國營保險

火災保險は空襲などによる住宅、工場、家財、商品には責任を持たぬが

戰爭保險は責任を持つ

生命保險は空襲などによる人の負傷には責任は持たぬが

戰爭死亡傷害保險は死亡は勿論負傷にも責任をもつ

一、保險料は保險金壹千圓に付

戰爭保險 一年間 甲種（鐵筋コンクリート造）二圓 六ケ月間 乙種（其他）三圓

戰爭死亡傷害保險 一年間 十圓

二、保險金額は被保險者一人に付五千圓を限度とする

三、加入手續は極めて簡單即刻御申込を

四、詳細は各保險會社に御問合せを

○朝鮮總督府指定の取扱保險會社

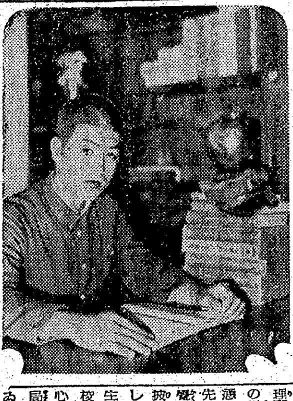
（イロハ順）

日本海上火災保險株式會社 日産火災海上保險株式會社 日本火災海上保險株式會社 日新火災海上保險株式會社 日動火災海上保險株式會社 東京火災海上保險株式會社 東京海上火災保險株式會社 東邦火災保險株式會社 千代田火災海上保險株式會社 朝鮮火災海上保險株式會社 大阪海上火災保險株式會社 大倉火災海上保險株式會社 横濱火災海上保險株式會社 太平洋海上火災保險株式會社 大成火災海上保險株式會社 大北火災海上運送保險株式會社 辰馬海上火災保險株式會社 住友海上火災保險株式會社 富士火災海上保險株式會社 帝國火災保險株式會社 神戸海上火災保險株式會社 共榮火災海上保險株式會社 共同火災海上保險株式會社 明治火災海上保險株式會社 三菱海上火災保險株式會社 尼崎海上火災保險株式會社 板谷生命保險株式會社 日本生命保險株式會社 日産生命保險株式會社 千代田生命保險相互會社 太陽生命保險株式會社 大同生命保險株式會社 第一生命保險相互會社 第百生命保險株式會社 大正生命保險株式會社 野村生命保險株式會社 安田生命保險株式會社 富國徴兵保險相互會社 帝國生命保險株式會社 愛國生命保險株式會社 明治生命保險株式會社 三井生命保險株式會社 住友生命保險株式會社

志願兵へ一番乗り
天晴れ法專の夏山君

十八年度陸軍特別志願兵採用施行規則の公布をみた半島の山野は歡喜にどよめいた、同じく机を列べ同じ勵學を踏き苦樂を共にした内地人學友が敢然戰列に赴かんとする秋無念の涙をのんでこれを見送つてゐた半島人若人も今こそ敢然と肩を列べて祖國の干城として征でたち得る光榮に浴したのだ、將來將校として指揮刀をふるひ米英擊滅に身を以て參畫せんとする學徒の意氣も高く半島學徒は今こそ起て、半島大學專門學校學徒が熱誠の雄叫びをあげて戰列への進軍を高鳴らした學徒臨戰決意昂揚大會を控へた廿九日〝私を第一線にやつて下さい〟と朝鮮軍司令部を訪問、鐵火と燃ゆる闘魂を披瀝した快男兒があつた、京城法學專門學校一年生夏山正議君とその父茂兵である、正議君の兄光郎氏は陸軍志願兵訓練所出身軍曹として、いま某部隊にあるが、勤勞の途中にあつてこの兄を羨ましくみて來た正議君は半島學徒の兵への道拓かるの光榮に逸早く第一線を名乘り出たのであつた、正議君は今春京城中學を卒業、法專に進み將來のうちにも心中深く烈々の闘魂を秘めてこの日の來るのを鶴首して待つた熱血兒――廿日京城鍾路區嘉會町三ノ一二三の自宅を訪れると鍾路警防團々長の公職をもつ父茂兵はあひにく不在であつたが警團の歐服の未だ消えやらぬ面持で現れた正議君は柔道初段のがつちりした體軀で〝若い者が戰爭に行くことは當然です〟と言葉少なく次の如き決意を吐露した

最初飛行兵を志願するつもりでしたが思ふ通り行かず今度の臨時特別志願兵の道が拓かれるや志願する決心をした譯です、若い者が祖國の危急に馳せつけることは當然だと思つてゐます、兄さんは既に志願兵となり應召を受けてゐますし兄さんも屹度喜んで下さると思ひます、父も母も兄さんを送つた經驗をもつてゐますしなんら拘はることなしに双手を擧げて贊成して下さいました、中學時代の友人が戰線を描く時堪へ難い寂しさを感じましたが、これで私もなにか晴れ〴〵した氣持になりました、志願した上は皇軍の一人として恥ぢない立派な軍人になる決心です【寫眞＝決意を語る夏山君】



奬學會で蹶起を促す
在京全學徒を招いて連絡會

【東京電話】半島學徒も兵役志願の好機を與へられたので朝鮮奬學會では『この秋を逃すな』と在京學徒に呼びかけてゐるが、廿九日午後三時から同會講堂に各大學、專門學校在學生と奬學會との間に連絡會を行ひ、連絡員卅一名を招集、崔麟その他來賓も參加し、川岸理事長、岩下指導部長等より趣旨の徹底を圖り志願への蹶起方を強調した、連絡員中には『自分は率先志願して同窓生を強力說得する覺悟です』と直ちに席上で決意を披瀝する者もあり種々意見を交換して同七時散會した、なほ半島學生中には中學在學中及び現在の學校に於ける軍事教練の成績につき心配してゐる者もあるが、學校當局では現在眞面目に教練を勵んでゐる兵役志願者に對しては過去の成績は不問に附するとの寛大な處置をとつてゐる

京城辯護士大會 第一回錬成會

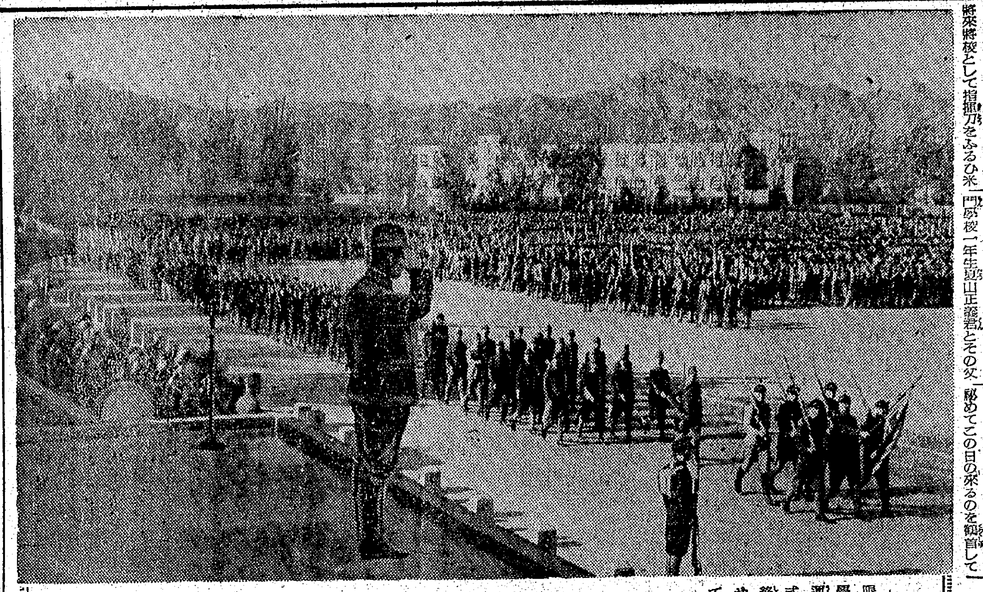
京城辯護士會では全會員に對する第一回錬成會を廿九日午前十時から明治町京城國民學校運動場で開催、久しい勤勞奉仕の會員百餘名は藤原府防衛兵務課長の指揮下に軍事教練、體操等に錬成をつみ十一時過ぎ散會した

富士に誓ふ 特別招待 試寫會

決戰下、軍機械化の緊急兵力を告ぐるの秋之が要員育成の機關たる少年戰車兵學校入學生募集開始期に際し、本社は遍く半島に於ける機械化思想の普及徹底を期すると共に、入學希望者激増の顯成促進を圖るため、日本映畫社が陸軍機甲本部後援の下に製作せる少年戰車兵訓練の記錄『富士に誓ふ』特別招待試寫會を開催することゝした

時＝11月1日(月)夜七時
所＝京城府民館
講演＝朝鮮軍兵務部 江上中佐
主催 京城日報社
協贊 社團法人日本映畫社 社團法人朝鮮映畫配給社
（招待券は軍官民有志方面へ配付済ですから招待券御持參の方に限る）

空と陸に學徒武者振ひ
大地を蹴る歩武・轟く爆音



臨戰決意大會

限りなく澄む秋空のもと三萬學徒の意氣高らかに廿日京城運動場に繰展げられた世紀の式典『臨戰學徒決意大會』は終始若人の鐵火の闘魂を滾らせ力強くも逞しく進み、やがて勇壯なる分列式に移れば、府内中等學校から選ばれた少年學徒喇叭隊の吹奏に地軸もゆらぐ分列行進は大地を蹴り足音も強く一隊また一隊、城大生を先頭に開始された、塑像の樣に立ちつくし臨戰學徒を閲兵する小磯總督は微動だもせず擧手を以つてこれに應へる、〝頭ア右〟の號令が次から次と秋空を劈いて起ればいつ果てるとも知れぬ學徒部隊は闘魂こもる校旗を擁して米英擊滅の歩武を進める、この感激の一瞬ふり仰ぐ澄空に轟く爆音は學徒操縦士が空から祝ふ壯んな門出だ、學生機の眞赤な双翼が上下にうちふるひ地上の白熱した叫びに應へるかの樣に會場上空を低く低く何度も旋回する、かくして陸と空に描く學徒の旺んな威容は宿敵米英擊たずんば止まずの覇氣を彌が上にも昂揚し勇壯な分列も終りに近く熱狂した女子部隊は拍手を以つて臨戰學徒の行を壯んにし、約四十分間に亘つた分列大行進も平壤師範を最後にその幕を閉ぢ決戰下勝利の歷史にきざみつけた意義深き盛典は午後三時廿分全く終了した【寫眞＝堂々の分列式】

學鷲磨く滅敵の腕
親鷲も驚く上達
決戰の空へ一筋燃ゆる念願

【〇〇航空基地にて村岡特派員】見ろ！敵の狼狽した必死の反攻の熾烈さを―いま灼熱南溟の地に、雲煙涯けき大陸の野に、この瞬間も大地を滿る鮮血に染めてわが精鋭は、憎き敵奴！〝擊ちてし止まむ―擊ちてし止まむ〟とひたすらに死闘猛攻を續け押し迫る敵の猛威を粉碎しつゝ輝かしき戰果を收めこれを擴張させてゐる、この戰果―廣大なわが南方占領地域と包藏する無限の資源…これが戰力化された暁には日本に刃向ふことは最早無駄だ、われらの寶冠比島を、ダイヤの首飾ジャワをマライを××奪回せよ―と血みどろとなり闘と疊を誇示して航空決戰を挑んで來た、こゝに全戰局は凄絶苛烈となつた、憎むべし敵の魂膽、我れ斷じて空に負けず、と若き熱血を奮ひ立たせ、燃ゆる學鷲の決意も固く學徒は起ち上つた、熱願叶へられて〝陸軍特別操縦見習士官〟となり、燦爛闘魂のもとにまつしぐらに飛び込んで早くも一ケ月、一と練く祖國の熱禱を肝に刻した若人の腕は冴えたり、既に立派な荒鷲としての素地を築き、大空をすましと羽搏いてゐる、許されて〇〇基地に不撓不屈の猛訓練に全身全靈を捧げる〝荒鷲一ケ月の腕〟を見たこれは報告書である

☆ ☆ ☆

基地は溢れる慈愛の道場であるとともに又た峻嚴なる〝人間修練〟の道場でもあつた、去る十月一日學生服を軍服に着替へ、座金に異彩のある幹部候補生の肩章、配章に指揮刀を佩びたその日輝かしい〝操縦見習士官〟となつたのだ

鐵の規律の

もと鍛へに鍛へられ、發動機學、操縦學、氣象學と矢繼早の學科も祖國一徹の冴え切つた學徒の熱學の前に何の苦しみもなく鮮明に腦裡に映き

秋といふが陽光は強い燦爛んと降る、寸隙に刈られた芝地の頭上に[illegible]打つたやうな空氣のうちを〝隊長殿に敬禮〟の號令が明朗な音を裂くやうな緊張さで發せられる、嚴格な部隊長の受禮が終るや〝本日の課目水平旋回を實施する〟と命令が下達される[illegible]

ピストの黑板を見ると訓練課目が記されてゐる―

◇課目―空中基本操作（水平旋回、上昇、降下旋回）（副）離陸
◇主要―演練事項三舵關和一致、着陸操縦の會得、初動、接觸、終止の圓滑、轉移の要領……
◇注意―死節時の減少、緊敵警戒心の旺盛……

等々が細かく書かれてゐる、大石隊長、教官森稚[illegible]課目を中心に離陸の操作[illegible]り、着陸時の操作等を一々分析してピストの學徒に傳へてゐる、所作、申告、號令の矯正が假借なく嚴格に出來上るまで繰返られる

學鷲は入隊の日から見習士官として遇されてゐる、己が名を辱しめずと學鷲の決意はこの日から必死眞劍の錬隊に突入した、起床、點呼に續いて操縦搭として基本體操、朝食、學科、操縦飛行訓練、中食、操縦學、基本體操とブツ續けの猛訓練

五時の夕食

でやつと自分の身體になり自習の時間に移る、訓練されたその日の全腦を確實に自習し翌日訓練にある明日の豫習を完了して消燈就寢するのが九時半、自分の時間があるとは言へ總て空に捧げるための訓練の時間で塗りつぶされてゐるのだ

この熱と猛訓練あればこそかくも敏日で飛行が許されるのだ、火を吐く道場とはまさにここの世界である、學鷲の腕は早くも冴え渡る一途を念願して強く逞しく羽搏いてゐるのだ、何と頼母しき姿であらう、ここで大石隊長に學鷲の腕前を聽かう

自分は總務として嚴格に育てゝゐる、内藏した〝自分達が征つて擊たねばならぬ…〟の純情熱火の決意と努力が總てを解決し腕はめきめき上達してゐる、自分は非常に嬉しく魂と魂がピツタリと觸れ合つて共に戰鬪に打ち勝つ信念が湧きみちてゐる、學鷲として愛兒をこゝに送られた

親御さんに

傳へてもらひ度い、御子息はきつと立派な荒鷲に育てあげます、そして相携へて出陣、敵米英を完膚なきまで殲滅することを誓ひます、どうか御安心下さい

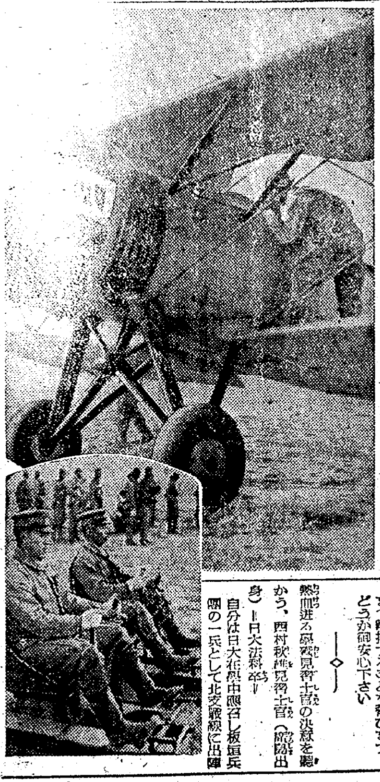
―◇―

熱血迸る學鷲見習士官の決意を聽かう、西村秋雄見習士官（京城出身）＝日大法科卒＝

自分は日大在學中應召し板垣兵團の一兵として北支戰線に出陣しました、太原攻略戰、徐州會戰その後轉じてノモンハン戰、南支から北部佛印と轉戰しました、その間戰友を大陸の地に失ひました、夜空に星をみると、戰友の魂が昇天して輝いてゐるやうです、さうだ仇を―自分は斷然と操縦見習士官を志願しました、側から見れば激しい訓練かも知れませんが、何のこれしきのこと、自分は一日も早く立派な荒鷲となつて敵米軍を粉碎する意欲で一杯です

―◇―

並木繁太郎見習士官（長野縣上田市出身）＝日大法科卒＝米を擊て、米空軍を屠ての止むに止まれぬ激情から日本化工勤務を振り捨てゝ志願しました母一人妹一人の家庭ですが、妹に後事を託して參りました、斷じてやります、隊長殿、教官殿の慈愛に感激し涙すら覺える熱情のもとに隊と一つにしかも烈々の闘魂を燃やさせられ勵んでゐます、先輩の奮戰する前線へ早くも出陣の日を夢見、後援の奮起を願つてゐます



【寫眞＝搭乘する見習士官とピストの地上操縦台で訓練する見習士官】

急ぐ漬物に思遣り
蔬菜産地から一般の搬入許可
十二月末日まで

鐵道では特に漬物貯藏期を控へて一般の漬物用蔬菜確保に萬全を期するため特殊措置を廿日設けたこれは漬物用蔬菜に限つて生産地から消費地へ早急の出廻りが必要なので廿七日發令された出荷統制令により指定された荷受機關である中央青果會社の手を經ずに十二月末日までに一般が直接に鐵道搬入することを認めたものである

さきに蔬菜類の圓滑な出廻りを圖る一般蔬菜類配給機構の劃期的な改革が行はれたが、京

これによると自家用として栽培したもの、搬出人に關しては栽培地が指定地區内にある場合、直接自家消費の目的をもつて購入せんとする時は搬入地の府尹、郡守の承認を得て購入することが出來るが、その期間は十二月末日限りでその數量は家族一人當り十貫以内であるなほ自家用として栽培するもの又は自己所有地に於て生産したもの前より借地し自作するものである

また栽培地が指定地區外にある場合は搬入地の府尹、郡守及び搬出地の府尹、郡守の承認を得て搬入するとともに、この場合も期間は十二月末日迄である、以上の搬入者及び搬出地の府尹、郡守或は邑面長は直ちに種類數量を搬入地の府尹、郡守に報告する

營業用を除いて學校、病院及び工場等の寄宿舍その他特殊業務用の搬出入に關しては從來より直接生産地より購入して差支へない場合と同樣搬證をとるが、一人當り數量は八貫以内で荷受機關所定の手數料を徴集されることである

搬入數量に就ては需給其の他の關係上漬物用及びそれ以外のものを一部又は全部に於て配給される場合があるので一月以降四月末日までの漬物用以外のもの、配給の有無については今後の供給數によつて決定される、さらに京城府内に於て生産されたもの亦指定數量以外の數量は指定出荷組合を通じ京城府指定荷受機關に出荷することになつた

合掌する人情將軍
倉茂少將舊部下の遺族を訪ふ

【平壤電話】曾て師父の慈愛を傾けてゐたいまは亡き部下の靈前に額づき、縷々と立籠る香煙の中にありし日の面影を偲ぶ――朝鮮軍報道部長大日本婦人會朝鮮本部事務局長倉茂少將は銃後半島婦人の總蹶起を促すべく來壤中、多忙の寸暇を割いて廿七日かつての部下である府内東町故磯部男大尉（三重縣出身）の義父に當る中川航空支廠長の官舍に駈け付け七年振りに亡き大尉の未亡人磯子さんと今年六つになる一粒種明與君の案内を受けつゝ靈前に跪み瞑目合掌することしばし、皇軍の赫々たる大戰果に磯部君もさぞや滿足してゐることでせう、と健氣にも留守宅を守る磯子未亡人に在りし日の大尉の武勲を語り、慈父の如き溫情溢るゝ慰めの言葉を與へ明與君を抱き上げて〝父さんのやうにえらくなるんだよ〟とやさしく勵まして名殘り惜しく同家を辭したなほ故磯部大尉は昭和十一年倉茂少將が千葉の戰車隊長のときの部下で、昭和十二年支那事變勃發するや少將と共に出征赫々たる武勲を遺し昭和十二年十月上海事變において壯烈な戰死を遂げ殊勲の華と散つたものである【寫眞＝故磯部大尉の靈前に額づく倉茂少將】

坑道戰士腕比べ
第二回鑿岩工の錬成會

鑛物非常增産の喫緊性に對處し地下の第一線に敢闘する鑿岩工の資質向上と日頃の腕前を競錬する目的のもとに昨年秋鮮内の各鑛山から優秀鑿岩工を選拔參加せしめて火と燃ゆる鑿岩工競錬會を開催して多大の成果を收めた日本鑛業朝鮮支社では、本年も亦昨年に引つゞいて九月一日から十月末まで六十日間にわたつて行はれた鑛物非常增産運動で日夜間斷なく闘つたこれら鑿岩工たち五十名を選んで五名を一組として各鑛山を代表して出場する第二回鑿岩工競錬會を開催することゝなつた

この競錬會への參加鑛山は第一地區では樂山、檢德、遂安、懇母城、瓮津の五鑛山及び第二地區では成興、寶州、金滿、遼北各鑛山の五鑛山合して十鑛山で、各參加出場鑛山からは一組五名の代表鑿岩工が選手として鑛山の名譽を擔つて出場するが、第一地區は成興鑛山、第二地區は遂安鑛山で十一月五日から九日までそれ〴〵豫選を行つたうへ、十一月十日から十四日まで五日間にわたつて瓮津鑛山で行はれる決勝大會に臨む

六十五萬圓の大窃盜
豪遊中を御用

本年一月頃から京城府都心街の有名ビル七ケ所に忍び込み合鍵をもつて金庫を破り現金、國債證券、株券等合計六十五萬圓を竊取した稀代の白晝窃盜團が廿日京畿道警察部の手に捕つた、京城城北町一七七無職國本一宇（元姓李時泳）（二〇）がそれで、被害の大口は一件廿五萬圓にも達してをり、逮捕當日現金十三萬圓を所持してゐた、被害者、共犯については目下取調中

醤油の短期釀造に成功

【高松電話】一ケ月で立派な醤油が出來るといふ朗報が醤油王國の香川縣で成功した、從來醤油の釀造は少くも一年の日子を要し且使用原料中の炭水化物の消耗の大なることは醤油工業界最大缺陷であつたが、この缺陷を除去し、かつ醤油工業を近代化するため香川縣醤油試驗場長村田為榮氏は五ケ年前よりあらゆる方法をもつてこれが試驗研究に努力を拂つた結果今回『無酸素醤油即釀法』を完成特許を得るに至つた、この即釀法による釀造期間は僅か一ケ月で

一、仕入れに食鹽を附加せず、ある時期において水蒸氣で脱鹽汁した食鹽を附加する
二、今までの即釀法は諸味の酸敗をするが、この即釀法は醗酵をもつて酸敗を防ぐ

といふ二點に特長があり、しかも從來一ケ年を要して出來た醤油より成分において含有物多く且色澤ともに優秀で臭味もないといふ重寶なもので、香川縣醤油試驗場では十一月中旬縣下の業者に對し、これが釀造法を公布、工業化をはかる筈である

〝若き姿〟公開打合せ

國民映畫として朝映が全國民に問ふ〝若き姿〟は十二月一日内地、朝鮮同時公開のはこびだが作品の帶びたる國家的重要意義に鑑み指導官たる本府圖書課嶋田事務官、同池田檢閲主任は公開打合せのため打揃つて廿九日東上、内地側と具體的方策を樹てる

急特題話

☆……師弟愛が生んだ輸血美談が學務局へもたらされた―忠南瑞山公立農業學校長星野數論夫人は産後の肥立ち惡く、入院加療中、經過が思くて危篤狀態となり輸血しなければ命が助からなくなつた

☆……これを傳へきいた同校生徒たちは『星野先生の奧さんを死なしてなるものか』と輸血を申出て、その中から夫人と同型の血液をもつ四年生山本紀承、中山忠男兩君の輸血を行ひ、なほ引きつゞいて多量の輸血を要するので、山本、金城兩生徒の輸血で夫人の容態はやうやく快方に向つた

☆……九月十三日、李家文雄君の輸血をもつて、生命を危まれた夫人の容態はすつかり元氣をとり戻していまでは退院の日を待つてゐるといふ

ねつとせきには
美味 玖源
お茶でのむとよくキキます
（各地薬店にあり）
總代理店 大阪市東區道修町三丁目 株式會社中西武商店 東京市日本橋區 神戸市

三十年の研究と命理の體法わ其極意に開眼し其的中は世評を博す
運命 天地眼先生 出張
大鑑定 人事百般解決 指導
京城府昌慶町大〓より上る一丁 御成集會所内二階
十一月廿日迄り 毎日午前八時より午後六時迄
運命を知れ 命名選名に應ず

第拾壹回營業報告（昭和拾八年九月參拾日現在）
貸借對照表

資産之部	圓
未拂込資本金	[illegible]
土地建物	[illegible]
什器	[illegible]
商品	[illegible]
有價證券	[illegible]
假拂金	[illegible]
預金及現金	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部	圓
資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
職員退職給與積立金	[illegible]
借入金	[illegible]
支拂手形	[illegible]
假受金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

昭和拾八年拾月
朝鮮川北電氣株式會社

從業員募集
一、女事務員 若干名
一、電話交換手 若干名
一、寮母 一名
女子合宿の設備あり但通勤可、希望者は本人面談の上決定
京城化學工業株式會社仁川工場

工員募集
一、募集人員 多數
一、求人者
一、就業地
一、職種
一、應募資格
一、待遇
一、提出書類
一、申込締切
一、面接期日
一、面接方法
右ニ依リ希望者ハ京城府中區[illegible]
京城職業紹介所

公賣公告
一、會社事務用具並家具類數點
右昭和十八年十一月五日午前十時當署ニ於テ競賣ス
詳細ハ當署庶務課ニ付照會セラレタシ
昭和十八年十月二十九日
京城稅務署

移轉謹告
弊本社營業所ハ今般左記ニ移轉シ昭和通營業所ト改稱シ來ル十一月一日ヨリ營業可致候間此段謹告候也（營業區域ハ從來通リ）
記
京城府中區南山町三丁目拾壹番地（京城ホテル跡）
電話代表本局八一八六（五）
一、電氣營業種目
二、瓦斯
三、電車
京城電氣株式會社昭和通營業所
京城電氣株式會社

月やく
とかくこうりお困りの方や御心配の人
中尾本家

三菱鑛業清津製煉所 行工員募集
一、募集人員 多數
一、職種
一、應募資格
一、提出書類
一、申込締切及場所
一、面接日時及場所
一、待遇
其ノ他詳細ニ就テハ來所ノ上問合スベシ
京城職業紹介所

陸軍軍醫中佐從五位勳四等齋藤欽二儀南方第一線に於て戰死の旨原隊より公報に接申候茲に故人の生前の御厚誼を拜謝し此段御通知申上候
昭和十八年十一月一日
妻 齋藤
兄 齋藤豐一郎 惠

父畠山富左衛門儀豫而病氣療養中の處藥石効なく遂に三十日午前〇時廿五分永眠仕候間謹んで御通知申上候
京城府元町一丁目八十九番地
嗣子 畠山
元町一丁目南北町會
畠山酒造場

父金次郎儀豫而病氣療養中の處三十日午前八時二十五分八十三歳の高齢を以て遂に死去仕り候間生前の御厚誼を深謝し此段御通知申上候
昭和十八年十月三十日
嗣子 林田久仁男
親戚友人總代

十月二十九日實父榮三郎儀葬儀の際は御多用中態々御會葬下され深謝仕候一々拜趨の上御禮申上可き筈に候へども取敢ず紙上を以て御禮申上候
昭和十八年十月三十日
嗣子 堤 大輔

金田 畠山 兩家御用達 葬儀社

何が何でもやり抜くぞ！
米英擊滅
大東亞建設
徵兵制實施 感謝感激
馬山府都町壹丁目 藥種商株式會社 石見屋

徵兵制實施感謝
叩き潰せッ敵米英！
平壤府會議員 桑谷實
平壤府會議員 松尾六郎
平壤府會議員 伊藤孝一
平壤低溫工業株式會社
江西郡統制物資小賣商業組合 理事長 金田大根

守り固し鐵桶の陣
本町署管内特設防護團の檢閲式

一朝有事に際し京城の心臓部を断乎死守すべく警防團及び消防隊員と共に不断の防空訓練に鍛錬の腕を磨りを固むる本町署管内特設防護團〇〇〇團體〇〇〇名に對する本年度檢閲式は卅日午前九時から奬忠壇公園に於て檢閲官星出本町署長、三輪京畿道防護課長、櫻澤京城中央特設防護團長、野口京城消防署長ほか各分團長臨席して執行、朝風に翻へる團旗を先頭に防護服も凛々しい男女隊員は續々參列して、中部金融經濟商業の中心地を護るに相應しい精鋭部隊の見事な登場振りである

國民儀禮についで檢閲式に入り星出署長以下警備、三輪防護課長、野口消防署長、各分團長は點火檢閲點検の後、消防基本操作、救護、防毒、警護訓練に本聚察へた防空戰技術の腕を映かせ"敵機千機ふとあわれ助ぜじ"の鐵桶の陣を布き勇壮な分列式の後、星出署長は「全鮮の模範とするに足る規律ある動作訓練はみるべきものあり、成績頗る良好なり」との講評あり萬歳三唱をもつて正午閉式した【寫眞＝本町署管内特設防護團檢閲式】

中、夏一文字に結んだ口は仇敵を殲さずんば止まぬ闘魂が漲つてゐる

終つて精鋭隊を二百十名を代表する黄連京團員に手交し同八時半撃ちてし止まむの氣魄をもつて散會した

大日本理化學研究所體育大會

三日午前十時から府内馬場町大日本理化學研究所では創業一周年記念鍛錬成體育大會を開催、官民有志多数臨場吉田所長挨拶の後全從業員の競技訓練に賑ふ

鍾路署管内でも

鍾路署でも管下特設防護團檢閲式を卅日午後二時から鍾路町臥龍町大通りで伊坂署長を檢閲官として擧行、五十四團〇〇名は巻脚絆或は鐵帽或はモンペに身を固め、觀閲式前に分列式を行ひ、引續き鍾路特設防護團聯合會結成式を徳文中學で擧行、皆川防護主任から結成に至るまでの經過報告ののち安田聯合會長から就任挨拶があつて伊坂署長から祝辭があり、伊坂署長の先唱で聖壽萬歳を奉唱、同四時散會した

東大門署で警防團員召集訓練

東大門署では警防團員非常召集訓練を卅日午前四時半から東大門區役所前で栗田團長總指揮のもとに朝霧をついて擧行、團員八百五十名は敏速果敢、非常災害に對處し日頃鍛へた腕前を遺憾なく發揮、引續き同七時半から警防團員の視閲式を擧行した

式は泉川署長をはじめ東大門署係官臨席、まづ栗田團長から朝鮮警防協會田中總裁の表彰狀の傳達のうち、泉川署長を視閲官に分列式に移つた、團長の指揮のもと隊列をとる喇叭に歩武堂々と龍山『頭右ツ』の團長の號令下るや全員團長たる視線を壇上の視閲官に集

"我儘""氣儘"を追放
正しき婦道へ總蹶起

ドーチエ還るの聲と共に伊太利は復歸した、國難南伊を席巻する痛々しさの中にも銃後婦人の決戰態勢に今や痛烈な批判が加へられんとしてゐる、伊太利は何故戰線を離脱したか、伊國の銃後婦人は決戰生活にもろくも耐へ得られなかつたといふではないか、私たちはこれを他山の石として起たねばならないとの強固な意志の下に大日本婦人會では全國的な『婦人總蹶起運動』を展開せんとしてゐる、愛國班の中から"我儘"を追放し"氣儘"を撲滅せなければならない、蟻の一穴から堤も崩れるのたとへ、一人の非協調は國を危くするものといへよう、全半島四百萬日婦會員は今や白紙一枚で總動員態勢は整へられた、總蹶起運動開始に備へて各町日婦會員は時局に啓發規律ある行動にまた勤勞態勢に飛躍的な進歩の跡を示してゐる、新しい銃後の婦道だ【寫眞＝錬成する明治町日婦會員】

勇士の慈母卒業式
きのふ日赤朝鮮本部で擧行

戰線に邁進する皇軍勇士に慈母のやうないたはりの手を差し伸べる大和撫子は頼々しい決意を胸に嬰兒同様の救護訓練を受けること三ケ月、天晴れ前線勤務の資格を得た日赤朝鮮本部臨時救護看護婦修了式並に三年間奉書の功を積んだ甲種看護婦卒業式は卅日午後一時から日赤病院講堂で佐々木副會長以下關係職員列席のもとに擧行、清楚な制服に胸をふくらまし臨時救護看護婦総代河津ミトキさん、甲種看護婦総代今宮武子さんが藤田病院長から證書を手交され引續き宇根菊子さんは修了生、門脇文子さんは卒業生を代表して感謝と決意を披瀝して同三時式を閉ぢた【寫眞＝日赤臨時救護看護婦修了式並に甲種看護婦卒業式】

西大門食報中隊 きのふ視閲式

食糧報國の決意も固く食糧報國隊西大門中隊の視閲式は卅日午後二時から西大門國民學校で視閲官に樋口西大門署長代理吉良經濟係主任を迎へて隊員百八十五名參加のもとに擧行した

國民儀禮のゝち吉良視閲官は整然と立並ぶ全隊員の表情服裝を點検すれば隊員は凛然と示す不動の姿勢に烈々の闘魂を漲らす續いて歩武堂々の分列式に移り星野中隊長指揮刀を一閃、全員大地を蹴つて行進"頭右"の號令に勇ましく應えた隊員の烈火の眼は吉良視閲官に注がれる終つて吉良視閲官の懇篤な訓示があり全員は一朝有事の際に益々食糧報國の成果を發揚せんことを誓つて同三時半終了した【寫眞＝視閲式】

扇風機献納 永登浦區で殺到

聚し返へるやうな南の戰線で奮戰を續けてゐる皇軍將兵に『涼風』を送らうと扇風機の献納運動が展開してゐるとき、こゝ永登浦區内でも自發的献納者が殺到、南部町會管内の廿台をはじめ明水台第一町會十一台のほか卅日現在で廿一台に達した　献納見込總數は約百台で今明日中に全部献納される見込である

街の慰問袋
敵性的の廣告文撲滅

今年の暮れから來春にかけて歐米は我が國へ對して大東亞戰を敢行せんとの氣構へを示してゐる、前線銃後一本の必勝態勢は勿論のこと"宣傳戰"にも勝利的な戰果が必要である、一枚のビラ一わくの廣告にも熱烈な戰力發揚が現はれねば國へ仇なすものと見てよい、例を日々の映畫廣告欄にとつてみても娯樂に對する大衆の熱意が（餘り褒めた話ではないが）如何に旺盛なるかを物語つてをり映畫館宣傳係も餘程慎重を要する、聯盟からの宣傳文をそのまゝに内地映畫會社の文書を轉載せてゐる番組廣告をしばしば見るがこれなど殊に愼んで貰ひたい、西山聯盟宣傳課長は街の宣傳について語つた【寫眞＝西山聯盟宣傳課長】

新着片信

大東亞秩序建設

【大川周明著】國内情勢の混乱と共に、學者とか論評家とかいふ人達も態度を換へる傾向にあり、それもまた國一致への歩調であると見られるが、この著者の如く終始からの主張を變へず、しかもその言説が國民を常に指導し、またそれが一個の發言的權威をさへ持つてゐたとすれば、悠々確乎していい筈である、この著者にも二十年以前に述べたものを加へてゐるが、今回それを讀んで卓見に驚くだけである、殊に東亞新秩序の建設に資する理念は決して新しく發案されたものではなく、既に明治維新前後に於て先覺者により把握されてゐたものであるといふ言葉など、實踐を伴ひ得た人にしていへるものである、國民に讀んで頂きたいものも願ひに値する（定價一圓九十錢　東京都麹町區三番町一　第一書房）

朝鮮史の栞

【今西龍著】これは著者の死後出版されたものであるが、朝鮮史を研究せんとする者にとつてはいゝ參考書であると共に、これはこれで獨立した價値を持つてゐると思ふ、今西博士の朝鮮研究に對する情熱に就ては、原文で狩野直喜も序文を述べてゐる、第一章は"朝鮮歴史の大系をなす史籍"に分れてゐるが、一つの立論をなすためには、夥しい參考書と實地踏査によつてゐるなど、學者らしい態度であり、朝鮮に於ける歴史は最も古きにさかのぼつてゐるのも、その立論を價値づけるものといへよう、日本と朝鮮が祖先を同じくする點に就て學者は勝れて居り、たゞそれは意識に應用されたのを見るのみで、その何れが先きであるかは（定價三圓五十錢、京城府中區長谷川町七四　近澤書店）

朝鮮神話と傳説

【申來鉉著】早大英文科出身の著者が、半島の一面を深く理解して資料として書いたもの、その態度のよさに就ては河竹繁俊氏が激賞してゐる、卷頭の一篇"羽衣"を讀んでみても、その文章の美しさがわかり、子供達をめあてに書いてゐる心づかひも察せられる、"羽衣"は、内地の傳説と同じであつてそれが何れから傳へられたものか知らぬが、たゞ天女を追つてその良人が天上に登ると、天女の良人が内地では漁師であり朝鮮では樵夫である點だけが違つてゐる、このやうなものに於ても内鮮はその祖先を一つにするものだと證據立てられたのは、著者が特に意圖したものであつてもなくても、いゝ結果を招くものであるに疑ひはない（定價一圓四十錢　東京都神田區神保町二ノ二八　一杉書店）

米國文化の批判

【本田喜代治譯】ベルナール・フアイの原著、フランスから見た米國文明の批判である、米國人を"空間に家を建てたといふよりも家を植ゑた"民族と笑ひ、歴史も、風俗も、觀るべき精神もないものと見て、それが、海岸にのみ都會を作つたために發展な感想しか持つことの出來ない原因だと指摘し、さういふ人種が經濟的にだけ發達して、どこに眞の文明を持ち得るであらうかといつてゐるのはよく米國を知つてゐるものと云はねばならない"しかも"彼等は金持ではない、長い勞働の一日が終ると二人は家に寝に歸る、同じやうな寝床は直ぐ寝られるやうになつて居りいかにも牧歌的な優しい椅子であると皮肉つたあたりにも鋭い眼がある（定價三圓八十錢　東京都京橋區銀座西六ノ四　朝日書房）

ラジオ 31日

朝 ▲六・三〇朝唱 身はたとへ 他 吉田松陰作、海老澤宏 ▲八・〇〇國民歌唱 ▲九・三〇（城）帝國在郷軍人會朝鮮聯合支部結成式實況 ▲一〇・三〇（大）吹奏樂と軍歌 [illegible]

夜 ▲六・〇〇少國民の時間 ▲七・二〇大東亞戰 ▲八・〇〇物語 [illegible]

椰子（やし）【96】
海野十三（作）　村上松次郎（畫）

意外な吉報（四）

『御激勵で恐れ入ります。』はゞ隊は大きな喜びに興奮して來るのを押へながら、鳩原博士に心から謝意を述べた。

目黒所長以下のミドリ病患者の症状が輕快に向つたと聞いて、井すると鳩原博士は、それを手で制して、

『いやいや、われわれが褒められるには、まだ早すぎるのですよ。といふわけは、患者たちがわれわれの手當の成功で救つたと斷定するには、職に疑問の點があるので』

『疑問があると仰有るのですか。さう御謙遜では痛み入りますね。目黒所長以下のミドリ病患者が快癒したといふ事實は、あなたがたの治療が功を奏したといふ以外に説明のしやうがないではありませんか』

『いや、さうでもないのです。これについては、ここに居る南部君がもつと詳しい報告をあなたがたにお話することが出來ると思ひます。南部君、どうぞ君から説明してあげて下さい』

老博士は傍をふりかへつて、美しい學子に目配せした。

『では、あたくしから申上げませう』

と、學子は井園の方へ進み出て、青い表紙のついた記錄の頁をくりながら、

『ミドリ病が神經系統の疾患であることは、あたくしどもの一致した診斷なんですの。それにつきまして、あたくしどもは二つの仕事を始めました。……いえ、正確に申すと三つの仕事を始めました。その第一は、ミドリ病の正體を突きとめることです。これは今尚研究を續行中でございますけれども、今までのところでは、何を發見することに成功…』

『なるほど』

と、井園と宣根は肯いた。そしてどつちかといふと、若くて美しいが故に、この女流學士をとかく輕視したことが、濟まないやうな氣がしてきた。

『それから第二の仕事は、患者たちの症状に對して或る適當な對症療法を施すことでございます。これについては、十四名の患者を三組に分け、A療法、B療法、C療法、といふ三種の療法を始めたのでございます。どの療法が奏功するか、その經過によつて、あたくしどもは最も良い療法を探しあてることが出來ますし、またそれが病源の正體をつきとめる手掛りになると考へてゐたわけでございます』

『なるほど、なるほど』

井園は學子博士の顏を眩しさうに見ながら大きく肯く。

『ところが、鳩原先生が唯今仰有いましたやうに、昨日のお晝に近く、患者の容態は一齊に好轉したのでございますの。ここで特に申上げて置かねばなりませんことは、容態が好轉しましたことは各組に共通であつたことでございます。つまりA療法の組も、B療法の組も、それからまたC療法の組も、殆ど同じ時刻に同じやうに輕快となつたのでございます。すなはち、ここに鳩原先生が御指摘になりましたやうに、あたくしどもの療法が成功したといふには疑問が存するところでございます。どの療法をとつてゐる患者たちも皆同時に輕快になるといふのはをかしうございますから……』

登記公告

[illegible]

京日案内　案内料金（前金）　一行一回　[illegible]

看護婦會員募集　[illegible]

タイピスト採用　朝鮮紡織會社

朝鮮自動車

住宅を求む　日本窒素

會計事務　[illegible]　高級住宅譲度し　女子事務員採用　大住宅譲度し　内職筆生採用　住宅付事務所　女店員採用　店員採用　住宅を求む　朝鮮食糧營團　女子接客係採用　小西商店　朝鮮産業經濟社　女店員採用　森永　職員採用　京城自動車

科外 金子外科　院長 金子雄治　京城益善町三四（呉小兒科跡）　電話光③666　備完室院八

和田性病　電蓄修理

内科 胃腸病　菅病院　京城元町二ノ三六（旧龍山）　電龍④

荷造包装の御相談　丸二組

病性 内科・X光線　白川医院　京城駅東 中林町六一　電本②8509

一帆船船長急募　二同甲板長急募　朝鮮近海運輸

性病科専門　洪震求医院

耳鼻咽喉科 医学博士 韓基澤　京城公平町三六　電光671

城寶樂劇隊　若草劇　京日文化劇場　明治座　城南劇場　中央劇場　和信映畫館　朝日座　桃花劇場　喜樂館　浪花館　新富座　東洋劇場　大陸劇場　第一劇場　京劇

第十七回決算報告書　北鮮製紙化學工業株式會社　[illegible]

女店員募集　寶山百貨店

招聘　フタバ洋服店

失踪宣言　[illegible]

徴兵制実施感謝
起て半島の青少年
馬山府榮町九番地 村崎酒造場
馬山 原田酒場
馬山 平井酒場
昌邑酒造株式會社馬山工場
馬山府 醸造元 福井商店
馬山金曜會

必ず満足さすはやつぱり城寶だけ
日曜 早朝十時開場

京城名物 城寶 樂劇隊 十八回公演
京城寶塚劇場

撃ちてし止まむ
朱乙温泉 旅館 千歳閣　旅館 鮮仙閣　旅館 萬翠　旅館 小倉館　料理店 湯香家
朱乙糧穀配給組合
朱乙木材製材所

何が何でもやり抜くぞ！
米英撃滅　大東亞建設
徴兵制實施 感謝感激
朝鮮商工會議所副會頭　釜山商工會議所會頭　三和護謨株式會社長
米倉清三郎
釜山府凡一町

夕刊 京城日報
京城府太平通一丁目三十一番地 京城日報社

日華基本條約調印完了
全般的平和後に撤兵
永久不渝の大本的基準成る

【東京電話】既存の日華基本條約に代つて日華關係の飛躍的發展を確認し今後の日華國交調整に永久不渝の大本的基準となるべき日本國、中華民國間同盟條約ならびにこれに附隨する附屬議定書及交換公文は何れも卅日午前十時中華民國國民政府行政院長汪兆銘氏ならびに駐華帝國大使谷正之氏によつて南京において署名調印され即日發効した(この午前十一時南京及び東京においてそれぞれその全文發表され、東京においては情報局發表)及び條約附屬議定書、交換公文の全文ならびに今次同盟條約締結の所以とその意義とを闡明した帝國政府聲明及び東條首相談が發表された 日華同盟條約の成立により既存の日華基本條約ならびに附屬議定書了解事項、新條約第五條の規定に從ひ卅日限り一切廢棄せられ日華兩國關係は今後一切同盟條約によつて調整せらるることとなつた大東亞戰爭の激展に伴ひ米英などの敵性勢力が中國より悉く一掃せられ本年一月九日中國の參戰により日華同生共死關係が確立され急速に發展し來つた日華關係は帝國の道義を基礎とする大東亞建設の大理想の一環としていよいよ進展を示し今回の日華同盟條約の締結を見たものである、今回の同盟條約においては日華兩國は善隣として緊密に相提携し道義に基く大東亞を建設し世界平和に貢獻せんがため一切の障碍を芟除する目的の下に

一、善隣友好主權領土の尊重互讓敦睦 二、大東亞建設とその安定確保のための協力 三、互惠的經濟提携

の三大綱目を實現せんことを規定し附屬議定書においては日華間全面和平成立の曉には日本は中國から全面的無條件撤兵を行ふべき旨ならびに北清事變に基く駐兵權をも拋棄すべき旨を規定し、交換公文においては中國における既成の特殊事態については戰爭終了後これが根本的調整を行ふべくまた事情が許せば戰爭遂行中といへどもこれが調整をなすこともあるべき旨を確約した、かくて本同盟條約の調印は帝國が企圖する大東亞新秩序の性格を極めて明瞭に宣示し日華國交百年の大計を盛つたものといふべきである

情報局發表(十月卅日午十一時) 日華兩國政府はかねて兩國間に同盟條約締結方交渉中なりしところ今般右條約案文の議定を見、十月三十日南京において特命全權大使谷正之と中華民國行政院長汪兆銘との間に右條約の署名調印を了せり

學徒臨戰決意大會

日華同盟條約正文

日本國、中華民國間同盟條約 大日本帝國政府及中華民國國民政府は兩國相互に緊密に協力して道義に基く大東亞を建設し、もつて世界全般の平和に貢獻せんことを期しこれが障碍となる一切の禍根を芟除する確固不動の決意をもつて左の通り協定せり

第一條 日本國及中華民國は兩國間に永久に善隣友好の關係を維持するため相互に其の主權及領土を尊重しつつ各般にわたり相互敦睦の手段を講ずべし

第二條 日本國及中華民國は大東亞の建設及安定確保のため相互に緊密に協力し有らゆる援助を爲すべし

第三條 日本國及中華民國は互惠を基調とする兩國間の緊密なる經濟提携を行ふべし

第四條 本條約の實施のため必要なる細目は兩國當該官憲間に協議決定せらるべし

第五條 昭和十五年十一月卅日調印の日本國、中華民國間基本關係に關する條約は其の一切の附屬文書と共に本條約實施の日より效力を失ふものとす

第六條 本條約は署名の日より實施せらるべし

右證據として下名は各本國政府より正當の委任を受け本條約に署名調印せり

昭和十八年十月三十日即ち中華民國三十二年十月三十日南京に於て日本文及漢文をもつて本書各二通を作成す

大日本帝國特命全權大使 谷正之

中華民國國民政府行政院長 汪兆銘

敵機十五撃墜 フインシハフエン附近

【第×基地卅日同盟】去る廿七日午後三時頃ニユーギニア方面フインシハフエン附近においてわが航空部隊はP40約廿機と交戰そのうち十五機(うち不確實三機)を撃墜したが、わが方の損害自爆一機、未歸還四機である

附屬議定書

本日日本國中華民國間同盟條約に署名するに當り兩國全權委員は左の通り協定せり

第一條 日本國は兩國間の全般的平和克服し戰爭狀態終了したる時は中華民國領域内に派遣せられたる日本國軍隊を撤去すべきことを約す

日本國は北清事變に關する北京議定書及關係書類に基く駐兵權を拋棄す

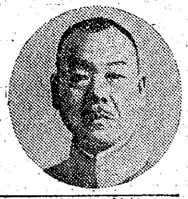
第二條 本議定書は條約と同時に實施せらるべし

右證據として兩國全權委員は本議定書に署名調印せり

昭和十八年十月卅日即ち中華民國三十二年十月卅日南京に於て日本文及漢文を以て本書二通を作成す

世界史創造の使命
學徒よ征け戰線へ
小磯總督、烈々の激勵

半島學徒總出陣の朝は明けた卅日、盡忠の至誠を感激に塗りつぶした半島學徒臨戰決意大會は大學高專及府内男女中等學校生徒無慮三萬名が米英撃滅の若き闘魂を沸らせ烈々の意氣も逞ましく午後一時卅分から京城運動場に世紀の式典を擧げた、いま敵を決して門途の際に立つその凜然の姿容は戰はずして既に敵をのむの慨があり、小磯總督の激勵の辭に續いて[illegible]の激勵の辭に續いて[illegible]の誓ひであつた、次いで[illegible]【寫眞=同會場】



本日茲に全鮮大學高專門學校學生生徒諸子相會し、決戰の現段階に際して、宿敵米英撃滅の爲、雄々しく[illegible]せんとする決意表明の[illegible]、近く軍籍に入るべき諸子の雄々しき覺悟を目のあたりにし、陛下の股肱として之を送らんとするに當り[illegible]

大御稜威の下

或は大洋に或は大陸に[illegible]皇國の意氣は[illegible]日に高まるのですが、諸子は多年 陛下の股肱として修文練武の功を積み、一旦緩急あれば義勇公に奉ずるの臣道を體得して、遂に今日あるに備へ來つた堅固なる決意を以て、此處に臨めることを疑はない、今や世界の戰局は緊迫して愈々其の度を加へ、大東亞の戰[illegible]

[illegible]は、着々と其の實績を進め、[illegible]十億の民の[illegible]らんとしつゝあるのです、然れども敵も亦此の戰に敗るゝの結果が、其の民族、國家の存在を否定せらるゝことを知るが故に、その全運命を賭して必死の反攻を試み來り、あらゆる手段を盡して頽勢の挽回を企圖するに至つた、之に對し我が第一線の將兵は、寡兵よく鬼神をも哭かしむる勇戰力闘を續け、敵の物量に[illegible]其の人的資源に[illegible]

[illegible]得るのです、諸子の[illegible]より[illegible]歩前に在りと謂ふべく、[illegible]大勇猛心を以て[illegible]勝利を[illegible]ねばならぬ[illegible]被米英に於ては、[illegible]門學校の大部を[illegible]數に上る學徒を前線に動員し[illegible]彼の反攻[illegible]

[illegible]を必要とするに至つたのみならず、將來大東亞に指導者たるべき大任を擔ふ日本靑年學徒をして、この試錬の中に指導者的資格を修練、把握せしむるの要を國家が認むるに至つたのである

諸子も亦夙にこの實情をよく認識し、其を執りつゝも皇國の直面する決戰の樣相に想ひを馳せ文我が國教育の眞義を徹見して已むに已まれぬ熱血の迸りを、抑へかねてゐたことでせう、時なる哉、[illegible]徵集延期の制停止せられ、全國學徒に對し所謂て皇國より戰場への道が開かるるや、學徒は[illegible]しくも蹶然として起ち上り、[illegible]國民をして[illegible]しく[illegible]るがさらしめたのである、[illegible]に有る若き生命を[illegible]

皇國の大生命

に融合せしめ、不滅の歷史に生きんとする閑淑大[illegible]の死生觀に[illegible]するが如く[illegible]した立派な[illegible]學徒の[illegible]は我等深く[illegible]を表し『今日よりは顧みなくて大君の醜の御楯と出で立つ我は』と詠じつゝ欣然遐境の護りに赴いた古き防人の面影が[illegible]として現はれ、此の祖先忠志の血は、今も諸子の胸奧に[illegible]々と[illegible]して居ることを確認するのです

而して[illegible]

門の扉は開かれたのである、半島出身學徒諸子は特に大學專門學校在學者のみに與へられたるこの榮譽と國家の信頼とに感激し、今ぞ皇民たるの深き自覺に基き欣然勇躍この門に突入するであらうことを確信するのです

大君の股肱として仕へまつるに生を內地に享けたると半島に享けたるとの區別は、今や事實の上に擬せられた、而して諸子は、多年皇國の道義を體把し夙夜文武の道に精勵し、今ぞ國家の急に馳せ參ずるの實力に於て、[illegible]から遜色とする所なしと[illegible]のである、若き[illegible]るする所[illegible]師の[illegible]するところ、[illegible]正の[illegible]利顯を競つて、[illegible]分に御奉公してもらひたい、國家が百年その士を養ふは、正にこの一日の用をなさしめんがために外ならぬと共に、征く者自身亦その心境を高め、その人格を玉成するの道に就くのです、我が學徒の魂が卓越せるか、敵のそれ等が優秀なるか、その雌雄はやがて[illegible]場の中に相見えるる時、[illegible]

主義のみによつて戰ひ拔かれるものではなく、必ず戰爭に對する道義的名分を辨へ、民族天與の使命を徹し、之より湧き出づる確固不退轉の勇猛心を以て戰ふ國民に、最後の勝利が味方するは明かである、此の點に關しことは、想像に難くありませぬ、諸子の他日勇躍出陣するところ、皇軍纖補の[illegible]は精神的にも、思想的にも愈々精強を加ふべきを確信し、我等は諸子の修錬と健鬪とを刮目して期待するものである

召されながら離入營を延期せられ暫し學窓に留まる者も、國家の企圖するところをよく了解し、日日の

研鑽に精魂を

打込むと共に、何時召[illegible]あるも、[illegible]に上るの心構へを常に[illegible]く用意を怠つてはならぬ、明年以後に召さるべき學徒も亦心身の鍛錬に一入の精進を續け、先鋒の堂々たる足跡に倣ひ、その功業を繼がねばならぬ、明又、日ならずして入營すべき者も、[illegible]る爰惡の日を空過することなく、[illegible]以てその[illegible]に[illegible]

を側目もふらず邁進すべきです 諸子よ、國家の絕大なる期待は今全國幾十萬の學徒の上にかゝつてゐる、全國民の視聽は諸子の一擧一動に集まつてゐる、世紀の大偉業たる大東亞戰完勝の爲に、諸子に重要な部署が與へられたのである、今征くと留まると、早き遲きの差こそあれ、やがて戰ひの部署に就き、最後の勝利を戰ひ取る重任を負つてゐるのである

諸君の前には男子の本懷を遂ぐべき戰の場が待ち設けて居る行手には激浪もあらう、嶮峻もあらう、炎熱瘴癘も襲ひかゝるであらう、酷寒厳冬も迫り來るであらう、而して總て强靭に之等の難苦に耐へ拔く所に敵の知き意思と人格が出來上るのである、況や諸子の上には[illegible]としての皇國發展の先命がある、大東亞に指導者たる大和民族の任がある、偉大なる世界史創造の使命がある

起て、而して征け、本總督は愛兒を送るの心を以て諸子の武運長久を祈つて止まない

帝國政府聲明

帝國政府は本卅日中華民國國民政府との間に同盟條約を締結せり、右同盟條約締結の結果、日本國、中華民國間基本關係に關する條約及びその附屬文書はその效力を失ふとともに日華間の條約關係は茲に劃期的發展を見るに至れり、惟ふに帝國政府は本年一月九日聲明を以て大東亞戰爭發生後の新事態に即應する帝國の對華方針に關し所信を闡明する所ありたり、爾來帝國は右聲明において闡明せる所を着々如實に實行に移し以て中國の自主獨立と國民政府の政治力發揮とを根基とする新中國の速かなる建設を極力支援し來り、國民政府またこれに呼應して自彊の途を講じ戰爭協力を强化し日華新關係は順調なる發展を見るに至れり、惟ふに大東亞戰爭の發生を契機として大東亞の形勢は激變するに至れり、即ち本戰爭發生前に於ては大東亞において米英の跳梁甚だしく帝國は日華間の條約關係を律するに當りても米英勢力の事實を無視するを得ざる事情に置かれたり、然るに大東亞戰爭發生後に於ては大東亞より米英の勢力一掃せられ國民政府また米英に對し宣戰するあり、日華兩國は茲に過去一切の行懸りに拘泥することなく善隣として本然の姿に立ち還り相攜へて大東亞の安定を確保し、其の繁榮を圖るべき兩國共同の使命を達成せんがため其の條約關係に就ても新事態に即應する如くこれを調整するを適當と認むるに至れる所以なり、帝國は既に滿洲國、泰國、ビルマ國及フイリピン國と道義を基調とする緊密なる協力關係を確立し、今また中華民國との間に兩國提攜の新たなる基礎を確立するに至る、かくて大東亞に於て各國の共存共榮を確保すべき新秩序は着々として建設せられつゝあり、帝國政府は日華新條約の根本精神に則る兩國關係の飛躍的發展を期待するとともに中華民國の自主獨立の完成に對しては今後もあらゆる支援を惜まざるものとして兩國相攜へて大東亞戰爭完遂、大東亞新秩序建設に邁進せんことを期し茲に帝國政府の所信を中外に闡明す

共同使命の礎石
首相談

本日日華兩國間に『日本國、中華民國間同盟條約』が締結せられ畫期的日華新關係の基礎が確立せられたことは日華兩國にとつて眞に慶賀すべきことであると共に大東亞の建設に一歩を進むるものとして意義深きものがある、大東亞諸國が相互に善隣としてその自主獨立を尊重しつゝ緊密に協力して道義に基く共存共榮の秩序を大東亞に建設し次で世界全般の平和に貢獻せんことは帝國が多年の念願として來たつた所である、米英の東亞制覇の野望と東洋諸民族離間の陰謀とはこれが實現を阻害し來つたのである、帝國はかゝる米英の野望を破碎し自存自衞を全うするため蹶然戈をとつて起つに至り、爾來大東亞諸國家、諸民族の心からなる協力の下から確乎不動の決意をもつて戰爭の完遂と大東亞の建設とに邁進して來たのである かくて日滿華の關係は日に月に緊密の度を加へ、日泰の親善關係はさらに一歩を進め新たにビルマおよびフイリピンは獨立し米英的舊秩序は大東亞より排除せられ大東亞の復興は着々と進捗するに至つたのである この間において中華民國は本年初頭米英に對し宣戰し飽までも帝國と同生共死共同戰爭完遂の決意を固めたのであるがこの秋に當り帝國は日華提携の根本精神に則る兩國關係の飛躍的發展を期待し中華民國の自主獨立と國民政府の政治力發揮とを根基とする新中國の速かなる建設を祈念し、中華民國における一切の帝國專管租界の還附、上海共同租界、厦門共同租界および北京公使館區域回收の承認、治外法權の撤廢を實施するなど各般にわたりあらゆる好意的措置をなすことを決意し、爾來これを具現し來つたのである、これに呼應し中華民國においてはいよいよ新中國の建設を邁進し戰爭協力の實を擧げ斯くして新らしき日華の關係は順調に進展し、本日ここに日華基本條約の根本的改訂を行ひ、同盟條約の締結を見るに至つたのである

蓋し本同盟條約は大東亞の新事態に即應し日華本然の關係を律するものであつて日華兩國永久友好と大東亞建設との崇高なる共同使命の礎石たるものであり、かくの如きは全く帝國の正しき戰爭目的と必勝の信念とに立脚してはじめて行ひ得るところであると確信するものである 帝國は今後ますます本條約の根本精神に則り新中國の建設のためにあらゆる支援を惜まざるものであつて日華兩國相攜へて大東亞戰爭の完遂と、大東亞新秩序の建設とに邁進せんことを期待する次第である

高等官は卅一名
本府の定員減員内容

國內態勢の徹底的簡素强力化を確立すべく政府ではさきに中央行政機構の大改革とこれに伴ふ諸官廳の定員減員を斷行十一月一日より新發足することとなつたが、外地たる朝鮮及び台灣總督府においても中央に策應、廿九日の閣議において總督府本府をはじめ遞信局、鐵道局、專賣局の中央諸官廳を通じて二割減を決定發表した、即ち十月一日現在における總督府本府及び外局定員は四千六百七十五名で、減員數九百卅六名で、減員の內譯は次の通りである

▲高等官卅一名 專賣局を含めた總督府本府において三勅任官以下廿四名、遞信局二名、交通局五名

▲判任官二百七十二名 本府百五十一名、遞信局五十七名、交通局六十四名

▲囑託、雇傭員、本府外局を通じて六百卅三名、合計九百卅六名

而して以上の減員の措置については地方廳たる各道廳の權限擴大整備に伴ひ末端行政機構の强化を期するためこれを地方に移すことゝならう

交換公文(東京電話)

來翰 書翰を以て啓上致候陳者本日中華民國日本國間同盟條約に署名するに當り本官と閣下との間に左の諒解成立致候

現に中華民國に存在する既成の事項にして本條約の趣旨にかんがみ調整を要するものは兩國間の全般的平和克服し戰爭狀態終了したる時本條約の趣旨に準據して根本的に調整せらるべし

戰爭狀態繼續中と雖も狀況これを許すに應じ逐次兩國間の協議により本條約の趣旨に準據して所要の調整を行ふものとす

本官は閣下に於て前記諒解を確認せられんことを希望致候

本官は茲に閣下に向つて敬意を表し候 敬具

中華民國卅二年十月三十日

南京に於て中華民國國民政府行政院々長 汪兆銘

往翰 書翰を以て啓上致候陳者本日附貴翰を以て左記の趣き御申越し相成り敬承致候

本日中華民國日本國間同盟條約に署名するに當り本官との間に左の諒解成立致候

現に中華民國に存在する既成の事項にして本條約の趣旨にかんがみ調整を要するものは兩國間の全般的平和克服し戰爭狀態終了したる時本條約の趣旨に準據して根本的に調整せらるべし

戰爭狀態繼續中と雖も狀況之を許すに應じ逐次兩國間の協議により本條約の趣旨に準據して所要の調整を行ふものとす

本官は閣下に於て前記諒解を確認せられんことを希望致候

本使は茲に前記諒解を確認致候

右回答旁本使は閣下に向つて敬意を表し候

昭和十八年十月三十日

南京に於て大日本帝國特命全權大使 谷正之

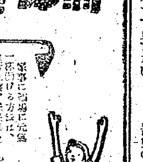
ソ聯の要求
エーゲ海の廻廊

【リスボン廿九日同盟】ルーズベルトは廿九日午前英國大使ハリファックスと約一時間にわたり會談を遂げたのちモスコー會談において米英ソ三國代表間にすでに協定が成立した旨言明したが、取極めの內容については今までのところ何んらの確報がない、消息筋において歐洲戰線特に西歐洲における第二戰線の展開ならびに地中海のバルカン作戰などが檢討されたことは確實視

訂正 卅日附朝刊所載藤原銀次郎氏の內閣顧問就任は行政查察使龍免の間ひ違ひにつき訂正

新治淋劑! 本位 効果 ゲ・ユ・サイト

弱体を[illegible]



新生アイフ 病弱胃腸の治療・強化に
食慾! 消化力! 恢復の秋!
錠・散 [illegible]

製法特許 P 疲勞の防止と恢復に
適應症 一、過度の肉體及び精神活動時 二、徹宵、夜間作業、その他睡氣除去を必要とする時 三、疲勞、宿醉、乘物醉 四、各種憂鬱症
ヒロポン錠
發賣元 大日本製藥株式會社

ツルカ ユキクリーム

一切の皮膚の惱みより救ひ潑剌とした健康美を與ふ
非常時なり……もろもろの濃飾を五體から一掃し、唯一すじに榮養クリームの効果を信ずべし。明朗なる健康美はたちどころに與へられん
武田藥品

更年期障碍に

特許の方法により製せる本邦唯一の新エステル型女性ホルモン劑にして……作用持續的なれば効果優秀!
頭痛 逆上、眩暈、耳鳴り 肩凝り、疲勞倦怠感 眼精疲勞、四肢冷感
☆一〇〇錠 二〇〇錠
製造發賣元 武田藥品工業株式會社 大阪市東區道修町
製法特許 オイペスチン錠
一錠中含有量 五〇ガンマ

扶翼の責諸子にあり
板垣軍司令官激勵の辭

我が決意の新たなる秋、[illegible]大決戰を行はんとす。[illegible]地に[illegible]て相對し[illegible]正義の[illegible]する[illegible]

として會場を壓し氣魄正に敵國を呑むの概あり

今や我國は[illegible]米英の[illegible]を[illegible]して必勝の[illegible]不[illegible]の陣を布き東亞[illegible]の[illegible]に[illegible]

[illegible]の[illegible]に對し一億國民は[illegible]の決意とを以て[illegible]

勝の[illegible]につき[illegible]を期す

大東亞の友邦亦同生共死の[illegible]各々其の戰力を結集して[illegible]米英[illegible]に參加せり、而して大東亞[illegible]

べく[illegible]を[illegible]する米英[illegible]限り其の[illegible]を[illegible]ありと[illegible]の日[illegible]而して[illegible]の非常[illegible]に[illegible]

畏くも在學徴集延期臨時特令の[illegible]を[illegible]給ふ、[illegible]し[illegible]しく今日あるを[illegible]しつゝありし[illegible]萬の[illegible]學徒は[illegible]に[illegible]し[illegible]を決して直ちに[illegible]に馳せ參ぜんと

するの[illegible]なる[illegible]國に[illegible]たるものあり、即ちその愛國の至情天に通じ[illegible]特別志願兵[illegible]の門[illegible]として開かる、その欣[illegible]や[illegible]ふべし

[illegible]諸子の[illegible]の[illegible]に[illegible]するの[illegible]に[illegible]

[illegible]の[illegible]に[illegible]することなく決戰[illegible]て内地[illegible]學生と共に大東亞指導民族としての學徒の[illegible]を發揮すべし

文、理工科系の學徒に留つて文武一途の[illegible]に[illegible]學徒は[illegible]の出陣の心を心とし、[illegible]に[illegible]ずと雖も常在戰場の[illegible]を以て[illegible]らば其の科學技術を明

日の戰[illegible]に[illegible]くその[illegible]たる[illegible]を[illegible]して學徒の本分に[illegible]時の出[illegible]に[illegible]するの[illegible]に[illegible]なからんことを期すべきなり、而して[illegible]べき[illegible]國奉仕に[illegible]ふる所なかるべからず

惟ふに今次[illegible]の[illegible]は[illegible]に[illegible]なり、此の前[illegible]未曾有の[illegible]に青年學徒身を挺して[illegible]に[illegible]を八紘に[illegible]んとす、是れ實に男子[illegible]上の本懐にして千載一遇の[illegible]なりと謂ふべし

諸子の出行は必ずや[illegible]をして立たしめ皇軍の志氣を[illegible]し敵國をして恐怖せしむるものあり[illegible]しく諸子の[illegible]を[illegible]ざる[illegible]に[illegible]し[illegible]く[illegible]を[illegible]し[illegible]の[illegible]に[illegible]を[illegible]して以て[illegible]の辭となす　★

盡忠の道拓けたり
今ぞ捧げんこの血潮
學徒三萬滅敵の誓ひ

凜然たる鐵心に猛り立つ若き闘魂を熱火と沸らせて今ぞ學徒は征く、大學專門學校生徒〝學徒滅敵決意大會〟は菊花薫る卅日午後一時半から、多年武を練り、技を磨つた數々の思ひ出深き京城運動場に世紀の式典を擧行した、この日參加するもの在城大學、專門はもとより平壤、大邱、水原、釜山の各專門校及び京城府内男女中等學校生徒無慮三萬名はさしもの廣い場内を埋めつくすその氣魄威容その熱氣は天地を壓し、勝利へ、斷々乎たる勝利へ、この日京城運動場へ潮の如く流れ込む學徒部隊は各校旗を先頭に男子は武裝、女子はモンペ姿も凜々しく午後一時歩武堂々足音も逞しく隊伍を組んで午後一時集結を終る、場内中央演壇は左側より大學、豫科、法學の順で整列を終れば周圍を繞むスタンドまた男子中等學校生徒女子專門、中等學校生徒で埋めつくされ數十の色鮮やかな校旗の波の中に武裝學徒の劍光が閃々と秋陽に映え熱誠ぶる内に午後一時卅分愈々大會の幕が開かれた

全員國歌合唱のうちにするすると日章旗は秋風を孕んで高く揚り場内は一瞬感動の坩堝にある、熱誠や次で德田大學總長代理山家理工學部長式辭を述べ終れば

式辭に次いで小磯總督、板垣軍司令官、後藤鎭海警備府司令長官の激勵の辭、これに應へて大學代表城大法科三年代々木文郎、專門校代表延禧專門文科三年瑞原幸穗の兩君は今ぞ烈々たる決意を表明した

惨に敵を呑むの概あり、燦たる大日章旗の下、その傳統と氣魄を表徴する校旗に決意學徒の燃え盛る熱誠を凝集させて盛典は愈々に式典は進められ、城大總長代理山家理工學部長の式辭に次いで小磯總督、板垣軍司令官、後藤鎭海警備府司令長官の激勵の辭、これに應へて大學代表城大法科三年代々木文郎、專門校代表延禧專門文科三年瑞原幸穗の兩君は今ぞ烈々たる決意を表明した

徒の胸を披瀝して厳然たる肩章に[illegible]の場内に〝海ゆかば〟の合唱が秋空にどよもし、若き血はいまここに燃えに燃える、何といふ感激、何といふ驕持しさであらう、參加の命下る、壯なる哉、生等學徒勇んで學徒の決意闡明が終れば感激

而して征け、本總督は護國の熱誠を以て諸子の武運長久を祈るであらう

と諄々と說き、學徒の剛毅たる門出を送る總督の激勵の辭に數萬の若き血潮はいよいよ殉國の忠誠に滾り、決したるその眦にはただ醜敵を屠りて止まむの熱烈がキラキラと鋭い流れとなつて溢れる、次いで板垣軍司令官起立して諸子の出行は必ずや畏敬をして立たしめ、皇軍の志氣を高揚し敵國をして恐怖せしむるものありと力強く激勵の辭を送り、後藤鎭海警備府司令長官代理松本海軍大佐また〝必ず勝て〟の士氣を鼓舞すれば限り無い感動に場内粛として聲なく只管なる警報をかみしめてあった、その熱烈たる決意の中から學徒代表として大學代表法科三年佐々木文郎、專門校代表延禧專門文科三年瑞原幸穗の兩君の雄叫が鏘々たる闘魂學徒の烈々たる決意を表明した

七生、滅賊せん
學徒代表答辭

大學代表

宣戰の大詔を拝してより茲に二年大御稜威の下忠勇なる皇軍將兵の勇戰奮闘により、南洋の空、北進の果、大陸の曠野に赫々たる戰果は燦と戰がり、今や盟國の大稿神は燦と輝いてビルマ、フイリピンに輝き更に印度に及ばんとす、而して敵米英はその大なる資源を恃みて一轉に頽勢を挽回せんとし、決戰を挑み来り罐局日に日に熾烈を極む。

學徒の肩に刻まれた固い盟戰の決意は宿敵米英擊滅に猛り、數十條の校旗は皇國の目前に打ち靡へ秋深き大東亞の空の下正に陣州の正氣を凝集し、かくして緞帳を醉ひ萬歲が瀑布の如く轟くなかに輝く若人の盛典を閉ぢた、武裝

參加各學徒は校旗を先頭に大分列式に移り天晴れ征野に進發するかの氣魄を誇示して雄渾、愛國行進曲初め軍歌曲の輝官民はたそその盛儀に感激を禁じ六分列式の大地を踏る皇室の歩武に醉ひ皇國の先驅として戰ふ熱誠と闘魂の心を誇るのであった

へ誓つて爲同の大任に臨へ奉らん決戰の最中に今ぞ征かん決意は既に燃ゆる、七生滅賊内錦相撲は完遂に渾身の力を致し以て決戰下なる皇國學徒の眞面を示さんとす、快

昭和十八年十月三十日京城帝國大學法文學部法學科學生佐々木文郎

蹶然列に挺身し七生爾國を誓つて征途より生還を期するものなく止まりて今斯し學を知に齋ある者又ら國家の要請に應じ夫々の分野に於て退職を…

專門學校代表

今や大御稜威の下生等學徒の學徒戰列に參加することの御許しを賜はり生等學徒は…感激の極みであります、而も本日は玆に生等、此の…式典に於て畏くも總督閣下はじめ軍司令官閣下、警備府司令長官閣下より激勵の言葉を賜りましたことは生等の無上の光榮であります、思ふに征戰二年に垂んとして戰は日一日と苛烈を加へ決戰に次ぐ決戰は實に南北の空に海に陸に壯烈極まる死鬪を繰り返して居ります、かねて學窓に研鑽を積み…國運を…し…決戰場にのぞみ見敵必殺、仇敵米英を擊滅することを…得ますのは男兒の本懐青年學徒としての喜びこれにすぐるものはありません、生等征くものは一身を鴻毛の輕きにおいてこの千載一遇の機會に皇恩の萬一に應へ奉り聖戰の目的たる大東亞建設の礎石たらんと固く誓ふものであります、しかも…

昭和十八年十月三十日
專門學校生徒代表
延禧專門學校生徒
瑞原　幸穗

必勝へ驀進せよ！
後藤鎭海警備府司令長官の激勵

後藤司令長官（寫眞）

諸君　今次大東亞戰爭における作戰の現段階に將來の發想を致して勵しそれが如何に熾烈深刻なるものであるかまたこの戰局に處して國民が安心し得るまでに必勝を確保することが實に緊要なる緒戰を賭して下帳唐の緣結をたることを今更贅言する迄もないと思ふ
只この際諸君に一言しておきたいことは彼我の激々決戰の實を實にし國民がその緊張へが出來てゐると思ふが如何に今日前線における激烈の情勢が正に國家の雄篇を展開し我國全面が反撃の國民と相互に國民を挙げて國民自身が國家を自身の責任として肩を[illegible]して居るかといふことである

國民　が自己の心構へを自發的に發揚し、國防の責任を完遂するに至らんことを今一層警戒して當る必要がないのか…

…戰局の重大さに國民が果して如何に覺悟してゐるか…

いま　敵アメリカが總力を擧げ國力といふ戰力といふかあの國力の總量なるものも大體本年末から來春までの間に我々を凌ぐものと見られ又米國人が日本人に比してその戰爭技能力において我が國民と對し…

即ち　本格的な艦隊と艦隊との最後的決戰を本戰爭の本舞臺とするならば現在戰はれつゝある南方戰場における制空權はその前哨戰であるとも見られる次第であるが、この本舞臺たるべき艦隊の大決戰も實にこの前哨戰に見事勝ち抜く…

平和　時代においてあの默々と…の見本と呼ばれ我が艦の…

…昭和十八年十月卅一日
鎭海警備府司令長官
後藤英次

道義官吏の表徴
本府職員の徽章制定

總督府では職員の身分を明確にし、官場における紀律と官吏の品位を保持せしめるため帽章と襟章（女子は胸章）を制定、卅日阿部情報課長談をもつて發表した、これにより本府職員は徽章の色によつてその地位が標示され、なほ本府以外の各廳においても違つた制服のある者を除き本府の例に準じてこれを實施することゝなり、特に學校關係職員及び中樞院など行政部門において直接民間との折衝のない官署では一律に白色を自とする、なほこの新しい制度は十一月十日から實施されるが、官廳勤務者以外の者で帽章及び襟章に桐葉或は桐花章を使用すると

情報課長談

今回本府においては職員の帽章及び襟章を左の通り制定し、現品の手配もついたので、近く全職員に佩用し、官場における紀律と官吏の品位を保持せしめる紐…官吏は本府職員たる身分を明確にし又襟章の色に依つてその地位を明瞭に、女子は胸章を附けること…

これを附せさせることゝなつた、これは官廳勤務者たることを詐る者として、警察犯處罰規則の適用を受けることゝなるものであつて、男子は帽及び服の附着…本府以外の各廳に於ても制服の定めある者を除き本府の例に準じこれを實施することゝなつて…

本社主要支局長打合會終る

本社主要支局長の臨時打合會は卅日午前十時から平壤ホテルにおいて開催、本社側から高宮社長、安井支配人、秋尾編輯他各局長、各支局長は武原仁川、渡邊全羅各局長が出席…

緒方氏へ恩賞
本府、住所を調査

…

けふの市況（卅日）
證券　不透明　氣迷ひ濃厚

證券週間展望
投機的要素の脫落

會社便り

大和水軍（40）
村松梢風作
中一彌畫

藝能

十一月の映畫

京日歌壇
相田敏郎選

花歌劇團
白年雪
白蘭兒
秦芳男
超満員
明日曜まで
絶對日延しない
編曲指揮　李在鎬君
花形男女三十餘名總動員
混雜致しますから御早く願ひます
十時開場十二時半開演
若草映畫劇場

明日の日曜は
マリア・ルーズ號事件
市川右太衛門
逢初夢子
他大映京都總動員
朝鮮映畫配給
京城劇場
中央劇場

熱風
これは凄い！見た人すべて絶讃！！
東寶映畫鐵血咆哮篇
藤田進・黒川彌太郎
沼崎勳・原節子
隆野唯勝・花井蘭子
演出　山本薩夫
日曜は十二時開映
明治座

肛門病科
大和医院
林裕盛

實父…儀十月二十九日午前…時死去…仕り候…告別式…相營申候…生前の御厚誼を謝し茲に謹告仕候也
昭和十八年十一月…日
…子
大…